

大学番号 公立1

注3

設置年度 平成 29年度

計画の区分： 学部設置

注1

届出

宮城大学 食産業学群 フードマネジメント学類

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 宮城大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

事務局 企画・入試課 企画・広報グループ

職名・氏名 シュサ サイトウ チサ
主査 齊藤 千沙

電話番号 022-377-8548

(夜間) 022-377-8548

e-mail kouhou@myu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

食産業学群

＜フードマネジメント学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

公立大学法人宮城大学

(2) 大 学 名

宮城大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒982-0215

宮城県仙台市太白区旗立2丁目2番1号

(本部：〒981-3298 宮城県黒川郡大和町学苑1番地1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ニシガキ マサル) 西垣 亘 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 長	(ニシガキ マサル) 西垣 克 (平成23年4月)	(カワカミ ノブアキ) 川上 伸昭 (平成29年4月)	任期満了によりH28.11.1 学長選考会議にて選出 (29)
学 部 長		(ニシカワ マサズミ) 西川 正純 (平成29年4月)	届出時には学群長が未定 であったが、学内規程に よりH29.3.22定例理事会 にて決定(29)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
 令和3年度に報告する内容 → (3)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
食産業学群 フード マネジメント学類 学士(食産業学)	農学関係	4年	63人	年次人	252人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 63 (-) [4]	人	人 63 (-) [4]	人	人 63 (-) [4]	人	人 63 (-) [4]	人	人 63 (-) [4]	人	1.05倍	1.05倍	入学時は、一部の選抜区分を除き、食産業学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。なお、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学9名、外国人留学生入試区分2名の計11名である。(29) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学9名である。(30) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学9名、外国人留学生入試区分1名の計10名である。(元) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学9名、外国人留学生入試区分1名の計11名である。(2) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、総合型選抜区分入学12名、外国人留学生入試区分1名の計13名である。(3)
志願者数	251 (-) [3]	- (-) [-]	281 (-) [3]	- (-) [-]	277 (-) [2]	- (-) [-]	252 (-) [2]	- (-) [-]	235 (-) [2]	- (-) [-]			
受験者数	147 (-) [3]	- (-) [-]	170 (-) [3]	- (-) [-]	169 (-) [2]	- (-) [-]	136 (-) [2]	- (-) [-]	123 (-) [2]	- (-) [-]			
合格者数	71 (-) [2]	- (-) [-]	72 (-) [0]	- (-) [-]	77 (-) [2]	- (-) [-]	77 (-) [2]	- (-) [-]	75 (-) [1]	- (-) [-]			
B 入学者数	66 (-) [2]	- (-) [-]	63 (-) [0]	- (-) [-]	68 (-) [1]	- (-) [-]	66 (-) [1]	- (-) [-]	69 (-) [1]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.04		1.00		1.07		1.04		1.09				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	66 [2] (-)	- [-] (-)	63 [0] (2)※	- [-] (-)	68 [2] (-)	- [-] (-)	66 [1] (1)	- [-] (-)	69 [1] (-)	- [-] (-)	1 年次の在学者については、一部の選抜区分を除き、食産業学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2 年次進級時に学類を決定して収容する。 なお、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者9名、外国人留学生入試区分2名の計11名である。(29) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者9名である。(30) ※学群一括入試で、平成29年度入学した学生のうち、留年し、学類配属が未定の者が4名存在しているため、留年生の人数については按分して記載している(30) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者9名、外国人留学生入試区分1名の計10名である。(元) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、A0入試区分入学者10名、外国人留学生入試区分1名の計11名である。(2) 記載については前年と同様であり、入学時に学類が決定している学生は、総合型選抜区分入学者12名、外国人留学生入試区分1名の計13名である。(3)
2 年次	[] ()	[] ()	63 [2] (-)	- [-] (-)	65 [1] (1)	- [-] (-)	68 [2] (1)	- [-] (-)	65 [1] (-)	- [-] (-)	
3 年次			[] ()	[] ()	62 [1] (-)	- [-] (-)	64 [-] (1)	- [-] (-)	69 [2] (1)	- [-] (-)	
4 年次					[] ()	[] ()	61 [1] (-)	- [-] (-)	65 [-] (2)	- [-] (-)	
計	66 [2] (-)		126 [2] (2)		195 [4] (1)		259 [4] (3)		268 [4] (3)		

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	130 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	125 人	1 人	平成29年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(1)
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	135 人	3 人	平成29年度	3 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学(3)
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	134 人	1 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	・家庭の事情(1)
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	137 人	2 人	平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	2 人	0 人	・就学意欲の低下(1) ・他の教育機関への入学・転学(1)
			令和3年度	0 人	0 人	
合 計		7 人		7 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(Ｑ人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{130} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{125} = \boxed{0.8} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{135} = \boxed{2.22} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{134} = \boxed{0.74} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{137} = \boxed{1.45} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜食産業学群 フードマネジメント学類＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤教育科目	宮城大学の知の体系	1前	2			1					2
	大学での学び入門	1前	1			1					1
	社会の中で生きる	1前	1								1
	キャリアデザインⅠ	1後	1			1					4
	スタートアップ・セミナー	1前	2								3
	アカデミック・セミナー	1後	2								3
	地域フィールドワーク	1前	2								13
	情報化社会と技術	1後	2								6
	データサイエンス入門	1前	2								6
	English Reading SkillsⅠ	1前	1								6
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1								6
	English Reading SkillsⅡ	1後	1								5
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1								6
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1								4
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								4
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1							3
	Extensive Listening	2後		1							1
	Practical English	2前		1							2
	中国語Ⅰ	1・2後		1							2
	中国語Ⅱ	1・2後		1							2
	韓国語Ⅰ	1・2前		1							2
	韓国語Ⅱ	1・2前		1							2
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global StudiesⅠ	1・2後		2							1
	Global StudiesⅡ	1・2前		2							1
	Intercultural Communication	1・2後		2							1
	全学自由ゼミ	1・2休		1							3
	日本の歴史と文化	1・2後		2							1
	世界の歴史と文化	1・2前		2							1
	東北の歴史と文化	1・2前		2							1
	音楽	1・2後		2							1
	美術	1・2前		2							1
	健康科学	1・2後		2			1				2
	スポーツ科学	1・2後		1							1
	スポーツ実技	1・2後		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2前		1							1
	現代社会と哲学	1・2後		2							1
	人と宗教	1・2後		2							1
	心理学	1・2後		2							2
	現代社会の諸相	1・2前		2							1
	憲法	1・2前		2							1
	社会と経済	1・2前		2							1
	数理科学	1・2後		2							1
	生命科学	1・2後		2							1
	環境科学入門	1・2前		2							2
	地球と宇宙	1・2前		2							1
	数学概論	1・2後		2							3
	物理概論	1・2後		2							1
	化学概論	1・2前		2			1				
	生物概論	1・2前		2							1
	基礎統計学	1後	2								6
	日本語Ⅰ	1前		1							2
	日本語Ⅱ	1後		1							2
	日本語Ⅲ	2前		1							2
	日本語Ⅳ	2後		1							2
	日本事情Ⅰ	1前		2							2
	日本事情Ⅱ	1後		2							2
	小計(58科目)	—									
全学共通科目	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							11
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						11
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前			2						11
	グローバルインターンシップ	1・2休		2							2
	学外研修	1・2休		2							1
	小計(5科目)	—									

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤教育科目	宮城大学の知の体系	1前	2			1					2
	大学での学び入門	1前	1			1					1
	社会の中で生きる	1前	1								4
	キャリアデザインⅠ	1後	1				0				4
	スタートアップ・セミナー	1前	2				2				3
	アカデミック・セミナー	1後	2				2				3
	地域フィールドワーク	1前	2				2				13
	情報化社会と技術	1後	2				2				6
	データサイエンス入門	1前	2				2				6
	English Reading SkillsⅠ	1前	1				1				6
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1				1				6
	English Reading SkillsⅡ	1後	1				1				5
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1				1				6
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1				1				4
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1				1				4
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1							1
	Extensive Listening	2後		1							1
	Practical English	2前		1							2
	中国語Ⅰ	1・2前		1							2
	中国語Ⅱ	1・2後		1							2
	韓国語Ⅰ	1・2前		1							2
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							2
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global StudiesⅠ	1・2前		2							1
	Global StudiesⅡ	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2後		2							1
	全学自由ゼミ	1・2休		1			1				3
	日本の歴史と文化	1・2後		2							1
	世界の歴史と文化	1・2前		2							1
	東北の歴史と文化	1・2前		2							1
	音楽	1・2後		2							1
	美術	1・2前		2							1
	アートサイエンス概論	1前		1							6
	総合芸術	1集中		1							6
	健康科学	1・2後		2			2	0			3
	スポーツ科学	1・2後		1							1
	スポーツ実技	1・2後		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2前		1							1
	現代社会と哲学	1・2後		2							1
	人と宗教	1・2後		2							1
	心理学	1・2後		2							2
	現代社会の諸相	1・2前		2							1
	憲法	1・2前		2							1
	社会と経済	1・2前		2							1
	数理科学	1・2後		2							1
	生命科学	1・2後		2							1
	環境科学入門	1・2前		2							2
	地球と宇宙	1・2前		2							1
	数学概論	1・2後		2							3
	物理概論	1・2後		2							1
	化学概論	1・2前		2			2	0			
	生物概論	1・2前		2							3
	基礎統計学	1後	2								6
	日本語Ⅰ	1前		1							2
	日本語Ⅱ	1後		1							2
	日本語Ⅲ	2前		1							2
	日本語Ⅳ	2後		1							2
	日本事情Ⅰ	1前		2							2
	日本事情Ⅱ	1後		2							2
	小計(60科目)	—									
全学共通科目	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							11
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						11
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前			2						11
	グローバルインターンシップ	1・2休		2							2
	学外研修	1・2休		2							1
	産学連携講座Ⅰ	1・2通				1					1
	産学連携講座Ⅱ	1・2通				1					1
	小計(7科目)	—									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	食産業学概論	1後	2			1					3
	有機化学	2前	2			1					
	経済経営学基礎	2前	2			1					
	科学基礎実験	2前	1				2				1
	食料生産・加工実習Ⅰ	2前	1			1	1				1
	応用情報処理	2前	2						1		1
	応用統計学	2前	2			1					
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1					
	インターンシップⅠ	2前	2								1
	微生物学	2後	2				1				
	環境科学	2後	2								1
	生化学	2後	2				1				
	専門基礎実験	2後	1				2				
	食料生産・加工実習Ⅱ	2後	1			1	1				1
	キャリア開発Ⅰ	2後	1								1
	食料・農業・農村政策	3前	2				1				
	キャリア開発Ⅱ	3前	1								1
	インターンシップⅡ	3前		2							1
	キャリア開発Ⅲ	3後	1								1
	フードコミュニケーション	4前	2								1
専門科目	小計(20科目)	-									
	食料生産概論	2前	2								1
	食品企業経営論	2後	2								1
	食品マーケティング論	2後	2				1				
	食品化学	2後	2				1				
	農産食品学	2後	2				1				
	食品衛生学	3前	2				1				
	栄養科学	3前	2				1				
	食品の安全性管理	3後	2			1					
	品質保証システム演習	3後	1				1				
	食と未来	4後	2			1					
	食料経済論	3前		2			1				
	食品流通・情報論	3前		2			1				
	食品企業経営戦略論	3前		2		1					
	フードシステム調査演習	3前	1						1		
	食産業政策論	3後	2				1				
	フードサービス産業論	3後	2							1	
	食品マーケティング演習	3後	1				1		1		
	食品企業経営戦略演習	3後	1			1					
	食品経済・政策論演習	3後	1			1	1				
	フードサービス産業論演習	4前	1							1	
	フードシステム解析演習	4前	1							1	
	畜産食品学	2後	2				1				1
	水産食品学	2後	2			1	1				
	食品工学	3前	2				1				
	食品衛生学実験	3前	1			1	1				
	食品機能開発学	3後	2			1	1				
	食品貯蔵・流通技術論	3後	2				2				
	発酵食品・醸造学	3後	2				1				
	食品栄養・機能学実験	3後	1				2				
	食品化学実験	3後	1			1	6				1
	ローカルフードシステム論	3前	2						1		
	グローバルフードシステム論	3後	2				1				
	調理科学	3後	2				1				
	企業倫理	4前	2			1	1				
	食感性科学	4前	2				1		1		
	ライフステージ栄養学	4前	2			1					
	解剖・生理学	4前	2								1
	食料生産経営学	3後	2								1
	食産業・政策史	4前	2				1				
	食品物理化学	3前	2								1
	分子生物学	3前	2								1
	水産資源学	4前	2			1					
	小計(42科目)	-									
卒業研究	卒業研究サーベイ	3後	2			4	8		1		1
	卒業研究	4通	6			4	8		1		1
	小計(2科目)	-									
合計(127科目)			-								
卒業要件及び履修方法											
基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から30単位、専門科目から44単位 (※)、卒業研究から8単位を履修し合計で127単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) (※)専門科目の共通科目19単位は全員必修とする。 フードビジネスコースは食産業経営科目A区分から必修11単位、B区分から選択3単位、専門関連科目から選択11単位を履修すること。 フードサイエンスコースは食生産・管理科学科目A区分から選択2単位、B区分から必修11単位、専門関連科目から選択12単位を履修すること。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	食産業学概論	1後	2			1					3
	有機化学	2前	2			1					
	経済経営学基礎	2前	2			1					1
	科学基礎実験	2前	1				2				12
	食料生産・加工実習Ⅰ	2前	1			1	0				8
	応用情報処理	2前	2						0		3
	応用統計学	2前	2			1					2
	キャリアデザインⅡ	2前	1			0					2
	インターンシップⅠ	2前	2								3
	微生物学	2後	2			2	0				1
	環境科学	2後	2			1	1				1
	生化学	2後	2			1	0				
	専門基礎実験	2後	1			3	0				11
	食料生産・加工実習Ⅱ	2後	1			2	0				8
	キャリア開発Ⅰ	2後	1								4
	食料・農業・農村政策	3前	2			1	0				
	キャリア開発Ⅱ	3前	1								4
	インターンシップⅡ	3前		2							4
	キャリア開発Ⅲ	3後	1								2
	フードコミュニケーション	4前	2								1
専門科目	小計(20科目)	-									
	食料生産概論	2前	2								3
	食品企業経営論	2後	2			1					1
	食品マーケティング論	2後	2				1				3
	食品化学	2後	2			1	1				1
	農産食品学	2後	2			1	0				3
	食品衛生学	3前	2			1	0				
	栄養科学	3前	2			1	0				
	食品の安全性管理	3後	2			1					
	品質保証システム演習	3後	1			2	0				
	食と未来	4後	2			10	1				7
	食料経済論	3前		2		1					
	食品流通・情報論	3前		2			1				1
	食品企業経営戦略論	3前		2		1					
	フードシステム調査演習	3前	1			2			0		2
	食産業政策論	3後	2				0				1
	フードサービス産業論	3後	2						0		1
	食品マーケティング演習	3後	1				1				2
	食品企業経営戦略演習	3後	1			1					
	食品経済・政策論演習	3後	1			2	0				
	フードサービス産業論演習	4前	1								1
	フードシステム解析演習	4前	1								2
	畜産食品学	2後	2			1	1				0
	水産食品学	2後	2			2	0				
	食品工学	3前	2				1				
	食品衛生学実験	3前	1			2	0				
	食品機能開発学	3後	2			2	0				
	食品貯蔵・流通技術論	3後	2			1	0				1
	発酵食品・醸造学	3後	2			1	0				
	食品栄養・機能学実験	3後	1			2	0				1
	食品化学実験	3後	1			6	1				2
	ローカルフードシステム論	3前	2			1			0		3
	グローバルフードシステム論	3後	2			1	0				1
	調理科学	3後	2			1	0				
	企業倫理	4前	2			2	0				
	食感性科学	4前	2				0		0		1
	ライフステージ栄養学	4前	2			1					1
	解剖・生理学	4前	2								1
	食料生産経営学	3後	2								1
	食産業・政策史	4前	2			1	0				1
	食品物理化学	3前	2								1
	分子生物学	3前	2								3
	水産資源学	4前	2			1					2
	小計(42科目)	-									
卒業研究	卒業研究サーベイ	3後	2			10	1		0		6
	卒業研究	4通	6			10	1		0		2
	小計(2科目)	-									
合計(131科目)			-								
卒業要件及び履修方法											
基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から30単位、専門科目から44単位 (※)、卒業研究から8単位を履修し合計で127単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) (※)専門科目の共通科目19単位は全員必修とする。 フードビジネスコースは食産業経営科目A区分から必修11単位、B区分から選択3単位、専門関連科目から選択11単位を履修すること。 フードサイエンスコースは食生産・管理科学科目A区分から選択2単位、B区分から必修11単位、専門関連科目から選択12単位を履修すること。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。											

【平成29年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
基 盤 教 育 科 目	宮城大学の知の体系	1前	2			1					2
	大学での学び入門	1前	1								1
	社会の中で生きる	1前	1								1
	キャリアデザインⅠ	1後	1			0					1
	スタートアップ・セミナー	1前	2				2				3
	アカデミック・セミナー	1後	2				2				3
	地域フィールドワーク	1前	2								10
	情報化社会と技術	1後	2								2
	データサイエンス入門	1前	2								2
	English Reading SkillsⅠ	1前	1								3
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1								2
	English Reading SkillsⅡ	1後	1								3
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1								3
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								5
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1							3
	Extensive Listening	2後		1							3
	Practical English	2前		1							3
	中国語Ⅰ	1・2前		1							1
	中国語Ⅱ	1・2後		1							1
	韓国語Ⅰ	1・2前		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global StudiesⅠ	1・2前		2							1
	Global StudiesⅡ	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2後		2							1
	全学自由ゼミ	1・2休		1							1
	日本の歴史と文化	1・2後		2							1
	世界の歴史と文化	1・2前		2							1
	東北の歴史と文化	1・2前		2							1
	音楽	1・2後		2							1
	美術	1・2前		2							3
	アートサイエンス概論	1前		1							9
	総合芸術	1集中		1							8
	健康科学	1・2後		2			1	0			2
	スポーツ科学	1・2後		1							1
	スポーツ実技	1・2後		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2前		1							1
	現代社会と哲学	1・2後		2							1
	人と宗教	1・2後		2							1
	心理学	1・2後		2							1
	現代社会の諸相	1・2前		2							1
	憲法	1・2前		2							1
	社会と経済	1・2前		2							1
	数理科学	1・2後		2							1
	生命科学	1・2後		2							1
	環境科学入門	1・2前		2			1				1
	地球と宇宙	1・2前		2							1
	数学概論	1・2後		2							2
	物理概論	1・2後		2							1
	化学概論	1・2前		2	0		1	0			
	生物概論	1・2前		2	0						2
	基礎統計学	1後		2							2
	日本語Ⅰ	1前		1							1
	日本語Ⅱ	1後		1							1
	日本語Ⅲ	2前		1							1
	日本語Ⅳ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ	1前		2							1
	日本事情Ⅱ	1後		2							1
	小計(60科目)	－									
全 学 共 通 科 目	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2						1	
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2					1	
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前			2					1	
	グローバルインターンシップ	1・2休		2						1	
	学外研修	1・2休		2						1	
	小計(5科目)	－									

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置				兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手
基 盤 教 育 科 目	宮城大学の知の体系	1前	2			1					2
	大学での学び入門	1前	1								1
	社会の中で生きる	1前	1								5
	キャリアデザインⅠ	1後	1			0					2
	スタートアップ・セミナー	1前	2								3
	アカデミック・セミナー	1後	2				1				3
	地域フィールドワーク	1前	2				1				12
	情報化社会と技術	1後	2								6
	データサイエンス入門	1前	2								5
	English Reading SkillsⅠ	1前	1								6
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1								4
	English Reading SkillsⅡ	1後	1								5
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1								4
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								4
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1							1
	Extensive Listening	2後		1							1
	Practical English	2前		1							1
	中国語Ⅰ	1・2前		1							1
	中国語Ⅱ	1・2後		1							1
	韓国語Ⅰ	1・2前		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global StudiesⅠ	1・2前		2							1
	Global StudiesⅡ	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2後		2							1
	全学自由ゼミ	1・2休		1			1				2
	日本の歴史と文化	1・2後		2							1
	世界の歴史と文化	1・2前		2							1
	東北の歴史と文化	1・2前		2							1
	音楽	1・2後		2							1
	美術	1・2前		2							2
	アートサイエンス概論	1前		1							9
	総合芸術	1集中		1							8
	健康科学	1・2後		2			1	1			3
	スポーツ科学	1・2後		1							1
	スポーツ実技	1・2後		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2前		1							1
	現代社会と哲学	1・2後		2							1
	人と宗教	1・2後		2							1
	心理学	1・2後		2							2
	現代社会の諸相	1・2前		2							1
	憲法	1・2前		2							1
	社会と経済	1・2前		2							1
	数理科学	1・2後		2							1
	生命科学	1・2後		2							1
	環境科学入門	1・2前		2			1				1
	地球と宇宙	1・2前		2							1
	数学概論	1・2後		2							3
	物理概論	1・2後		2							3
	化学概論	1・2前		2	0		1	1			
	生物概論	1・2前		2	0						3
	基礎統計学	1後		2							6
	日本語Ⅰ	1前		1							1
	日本語Ⅱ	1後		1							1
	日本語Ⅲ	2前		1							1
	日本語Ⅳ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ	1前		2							1
	日本事情Ⅱ	1後		2							1
	小計(60科目)	－									
全 学 共 通 科 目	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							12
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						12
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前			2						12
	グローバルインターンシップ	1・2休		2							1
	学外研修	1・2休		2		1					1
	産学連携講座Ⅰ	1・2通			1	1					1
	産学連携講座Ⅱ	1・2通			1	1					2
小計(7科目)	－										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	
専門基礎科目	食産業学概論	1後	2			1	0			3
	有機化学	2前	2				1			
	経済経営学基礎	2前	2			1				
	科学基礎実験	2前	1				2			1
	食料生産・加工実習Ⅰ	2前	1			1	1			1
	応用情報処理	2前	2							1
	応用統計学	2前	2			1			1	
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1				
	インターンシップⅠ	2前	2							1
	微生物学	2後	2				1			
	環境科学	2後	2							1
	生化学	2後	2				1			
	専門基礎実験	2後	1				2			
	食料生産・加工実習Ⅱ	2後	1			1	1			1
	キャリア開発Ⅰ	2後	1							1
	食料・農業・農村政策	3前	2				1			
	キャリア開発Ⅱ	3前	1							1
	インターンシップⅡ	3前		2						1
	キャリア開発Ⅲ	3後	1							1
	フードコミュニケーション	4前	2							1
専門科目	小計(20科目)	—								
	食料生産概論	2前	2							1
	食品企業経営論	2後	2							1
	食品マーケティング論	2後	2				1			
	食品化学	2後	2				1			
	農産食品学	2後	2				1			
	食品衛生学	3前	2				1			
	栄養科学	3前	2				1			
	食品の安全管理	3後	2			1				
	品質保証システム演習	3後	1				1			
	食と未来	4後	2							
	食料経済論	3前		2		1				
	食品流通・情報論	3前		2			1			
	食品企業経営戦略論	3前		2		1				
	フードシステム調査演習	3前		1				1		
	食産業政策論	3後		2		1				
	フードサービス産業論	3後		2						1
	食品マーケティング演習	3後		1		1			1	
	食品企業経営戦略演習	3後		1		1				
	食品経済・政策論演習	3後		1		1	1			
	フードサービス産業論演習	4前		1						1
	フードシステム解析演習	4前		1						1
	畜産食品学	2後		2		1				1
	水産食品学	2後		2		1	1			
	食品工学	3前		2		1	1			
	食品衛生学実験	3前		1		1	1			
	食品機能開発学	3後		2		1	1			
	食品貯蔵・流通技術論	3後		2			2			
	発酵食品・醸造学	3後		2		1				
	食品栄養・機能学実験	3後		1			2			
	食品化学実験	3後		1		1	6			1
	ローカルフードシステム論	3前		2					1	
	グローバルフードシステム論	3後		2		1				
	調理科学	3後		2		1	1			
	企業倫理	4前		2		1	1			
	食感性科学	4前		2		1			1	
	ライフステージ栄養学	4前		2		1				
	解剖・生理学	4前		2						1
	食料生産経営学	3後		2						1
	食産業・政策史	4前		2			1			
	食品物理化学	3前		2						1
	分子生物学	3前		2						1
	水産資源学	4前		2		1				
	小計(42科目)	—								
卒業研究	卒業研究サーベイ	3後	2			6	6	1	0	0
	卒業研究	4通	6			6	6	1	0	0
	小計(2科目)	—								
合計(129科目)		—								
卒業要件及び履修方法										
基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から30単位、専門科目から44単位 (※)、卒業研究から8単位を履修し合計で127単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) (※)専門科目の共通科目19単位は全員必修とする。 フードビジネスコースは食産業経営科目A区分から必修11単位、B区分から選択3単位、専門関連科目から選択11単位を履修すること。 フードサイエンスコースは食生産・管理科学科目A区分から選択2単位、B区分から必修11単位、専門関連科目から選択12単位を履修すること。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	
専門基礎科目	食産業学概論	1後	2			1	0			3
	有機化学	2前	2				1			
	経済経営学基礎	2前	2			1				1
	科学基礎実験	2前	1			1	1			7
	食料生産・加工実習Ⅰ	2前	1			1	1			4
	応用情報処理	2前	2							2
	応用統計学	2前	2			1		1	0	1
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1				2
	インターンシップⅠ	2前	2					1		4
	微生物学	2後	2				2	0		
	環境科学	2後	2							2
	生化学	2後	2			1	0			
	専門基礎実験	2後	1			2	1			11
	食料生産・加工実習Ⅱ	2後	1			2	1			3
	キャリア開発Ⅰ	2後	1			1				3
	食料・農業・農村政策	3前	2					1		
	キャリア開発Ⅱ	3前	1							1
	インターンシップⅡ	3前		2						1
	キャリア開発Ⅲ	3後	1							1
	フードコミュニケーション	4前	2							1
専門科目	小計(20科目)	—								
	食料生産概論	2前	2				1			3
	食品企業経営論	2後	2				1			1
	食品マーケティング論	2後	2				1			
	食品化学	2後	2				1			1
	農産食品学	2後	2			1	0			
	食品衛生学	3前	2				1			
	栄養科学	3前	2				1			
	食品の安全管理	3後	2			1				
	品質保証システム演習	3後	1				1			
	食と未来	4後	2							
	食料経済論	3前		2		1				
	食品流通・情報論	3前		2			1			
	食品企業経営戦略論	3前		2		1				
	フードシステム調査演習	3前		1					1	
	食産業政策論	3後		2			1			
	フードサービス産業論	3後		2						1
	食品マーケティング演習	3後		1			1		1	
	食品企業経営戦略演習	3後		1		1				
	食品経済・政策論演習	3後		1		1	1			
	フードサービス産業論演習	4前		1						1
	フードシステム解析演習	4前		1						1
	畜産食品学	2後		2		2	0			0
	水産食品学	2後		2		1	1			
	食品工学	3前		2			0			0
	食品衛生学実験	3前		1		1	1			
	食品機能開発学	3後		2		1	1			
	食品貯蔵・流通技術論	3後		2			1			
	発酵食品・醸造学	3後		2			1			
	食品栄養・機能学実験	3後		1			2			
	食品化学実験	3後		1		3	3			1
	ローカルフードシステム論	3前		2					1	
	グローバルフードシステム論	3後		2			1			
	調理科学	3後		2		1	1			
	企業倫理	4前		2		1	1			
	食感性科学	4前		2		1		1	0	
	ライフステージ栄養学	4前		2		1				
	解剖・生理学	4前		2						1
	食料生産経営学	3後		2						1
	食産業・政策史	4前		2			1			
	食品物理化学	3前		2						1
	分子生物学	3前		2						1
	水産資源学	4前		2		1				
	小計(42科目)	—								
卒業研究	卒業研究サーベイ	3後	2			7	4	1	0	0
	卒業研究	4通	6			7	4	1	0	0
	小計(2科目)	—								
合計(131科目)		—								
卒業要件及び履修方法										
基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から30単位、専門科目から44単位 (※)、卒業研究から8単位を履修し合計で127単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間)) (※)専門科目の共通科目19単位は全員必修とする。 フードビジネスコースは食産業経営科目A区分から必修11単位、B区分から選択3単位、専門関連科目から選択11単位を履修すること。 フードサイエンスコースは食生産・管理科学科目A区分から選択2単位、B区分から必修11単位、専門関連科目から選択12単位を履修すること。 全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。										

【令和元年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基盤 教 育 科 目	宮城大学の知の体系	1前	2			1					2
	大学での学び入門	1前	1			1					1
	社会の中で生きる	1前	1								5
	キャリアデザインⅠ	1後	1								2
	スタートアップ・セミナー	1前	2			3	0				2
	アカデミック・セミナー	1後	2			3	0				2
	地域フィールドワーク	1前	2								13
	情報化社会と技術	1後	2								6
	データサイエンス入門	1前	2								6
	English Reading SkillsⅠ	1前	1								6
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1								5
	English Reading SkillsⅡ	1後	1								5
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1								4
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1								5
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								5
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1							1
	Extensive Listening	2後		1							1
	Practical English	2前		1							1
	中国語Ⅰ	1・2前		1							2
	中国語Ⅱ	1・2後		1							2
	韓国語Ⅰ	1・2前		1							1
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							1
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global StudiesⅠ	1・2前		2							1
	Global StudiesⅡ	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2後		2							1
	全学自由ゼミ	1・2休		1		1					3
	日本の歴史と文化	1・2後		2							1
	世界の歴史と文化	1・2前		2							1
	東北の歴史と文化	1・2前		2							1
	音楽	1・2後		2							1
	美術	1・2前		2							2
	アートサイエンス概論	1前		1							7
	総合芸術	1集中		1							6
	健康科学	1・2後		2		1	1				3
	スポーツ科学	1・2後		1							1
	スポーツ実技	1・2後		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2前		1							1
	現代社会と哲学	1・2後		2							1
	人と宗教	1・2後		2							1
	心理学	1・2後		2							2
	現代社会の諸相	1・2前		2							1
	憲法	1・2前		2							1
	社会と経済	1・2前		2							1
	数理科学	1・2後		2							1
	生命科学	1・2後		2							1
	環境科学入門	1・2前		2		1					1
	地球と宇宙	1・2前		2							1
	数学概論	1・2後		2							3
	物理概論	1・2後		2							2
	化学概論	1・2前	2	0		1	1				
	生物概論	1・2前	2	0							3
	基礎統計学	1後	2								6
	日本語Ⅰ	1前		1							1
	日本語Ⅱ	1後		1							1
	日本語Ⅲ	2前		1							1
	日本語Ⅳ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ	1前		2							1
	日本事情Ⅱ	1後		2							1
	小計(60科目)	－									
全 学 共 通 科 目	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2						13	
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2					12	
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前			2					11	
	グローバルインターンシップ	1・2休		2						1	
	学外研修	1・2休		2		1				0	
	産学連携講座Ⅰ	1・2通			1	1				0	
	産学連携講座Ⅱ	1・2通			1	1				0	
小計(7科目)	－										

【令和2年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基盤 教 育 科 目	宮城大学の知の体系	1前	2			1					2
	大学での学び入門	1前	1			1					1
	社会の中で生きる	1前	1								4
	キャリアデザインⅠ	1後	1								2
	スタートアップ・セミナー	1前	2			0	0				4
	アカデミック・セミナー	1後	2			0	0				4
	地域フィールドワーク	1前	2			1					14
	情報化社会と技術	1後	2								6
	データサイエンス入門	1前	2								6
	English Reading SkillsⅠ	1前	1								6
	English Self-ExpressionⅠ	1前	1								6
	English Reading SkillsⅡ	1後	1								5
	English Self-ExpressionⅡ	1後	1								5
	English for Academic PurposesⅠ	2前	1								4
	English Self-ExpressionⅢ	2前	1								4
	English for Academic PurposesⅡ	2後		1							1
	Extensive Listening	2後		1							1
	Practical English	2前		1							1
	中国語Ⅰ	1・2前		1							2
	中国語Ⅱ	1・2後		1							2
	韓国語Ⅰ	1・2前		1							2
	韓国語Ⅱ	1・2後		1							2
	ベトナム語Ⅰ	1・2休		1							1
	ベトナム語Ⅱ	1・2休		1							1
	Global StudiesⅠ	1・2前		2							1
	Global StudiesⅡ	1・2後		2							1
	Intercultural Communication	1・2後		2							1
	全学自由ゼミ	1・2休		1			1				3
	日本の歴史と文化	1・2後		2							1
	世界の歴史と文化	1・2前		2							1
	東北の歴史と文化	1・2前		2							1
	音楽	1・2後		2							1
	美術	1・2前		2							2
	アートサイエンス概論	1前		1							7
	総合芸術	1集中		1							6
	健康科学	1・2後		2			2	0			3
	スポーツ科学	1・2後		1							1
	スポーツ実技	1・2後		1							1
	体を動かす楽しみ	1・2前		1							1
	現代社会と哲学	1・2後		2							1
	人と宗教	1・2後		2							1
	心理学	1・2後		2							2
	現代社会の諸相	1・2前		2							1
	憲法	1・2前		2							1
	社会と経済	1・2前		2							1
	数理科学	1・2後		2							1
	生命科学	1・2後		2							1
	環境科学入門	1・2前		2			1				2
	地球と宇宙	1・2前		2							1
	数学概論	1・2後		2							3
	物理概論	1・2後		2							1
	化学概論	1・2前	2	0			1	1			
	生物概論	1・2前	2	0							3
	基礎統計学	1後	2								6
	日本語Ⅰ	1前		1							1
	日本語Ⅱ	1後		1							1
	日本語Ⅲ	2前		1							1
	日本語Ⅳ	2後		1							1
	日本事情Ⅰ	1前		2							1
	日本事情Ⅱ	1後		2							1
	小計(60科目)	－									
全 学 共 通 科 目	コミュニティ・プランナー概論及び演習	2前		2							11
	コミュニティ・プランナー実践論	2後			2						10
	コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習	3前			2						10
	グローバルインターンシップ	1・2休		2							1
	学外研修	1・2休		2		1					0
	産学連携講座Ⅰ	1・2通			1	1					0
	産学連携講座Ⅱ	1・2通			1	1					0
小計(7科目)	－										

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	食産業学概論	1後	2			1					3
	有機化学	2前	2				1				
	経済経営学基礎	2前	2			1					1
	科学基礎実験	2前	1			1	1				10
	食料生産・加工実習Ⅰ	2前	1			0	1				7
	応用情報処理	2前	2								2
	応用統計学	2前	2			1	1	0			1
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1					2
	インターンシップⅠ	2前	2			1	1	0			4
	微生物学	2後	2			2					
	環境科学	2後	2								2
	生化学	2後	2			1					
	専門基礎実験	2後	1			2	1				11
	食料生産・加工実習Ⅱ	2後	1			1	1				6
	キャリア開発Ⅰ	2後	1			1					3
	食料・農業・農村政策	3前	2			1	0				
	キャリア開発Ⅱ	3前	1								4
	インターンシップⅡ	3前	1	2			1				4
	キャリア開発Ⅲ	3後	1								2
	フードコミュニケーション	4前	2								1
専門科目	小計(20科目)										
	食料生産概論	2前	2								3
	食品企業経営論	2後	2			1					1
	食品マーケティング論	2後	2				1				1
	食品化学	2後	2								
	農産食品学	2後	2			1					
	食品衛生学	3前	2				1				
	栄養科学	3前	2				1				
	食品の安全性管理	3後	2			1					
	品質保証システム演習	3後	1				2				
	食と未来	4後	2			2					
	食料経済論	3前		2		1					
	食品流通・情報論	3前		2			1				
	食品企業経営戦略論	3前		2		1					
	フードシステム調査演習	3前	1			1		0			
	食産業政策論	3後	2			0					1
	フードサービス産業論	3後	2								1
	食品マーケティング演習	3後	1				2		0		
	食品企業経営戦略演習	3後	1			1					
	食品経済・政策論演習	3後	1			2	0				
卒業研究	フードサービス産業論演習	4前	1								1
	フードシステム解析演習	4前	1								2
	畜産食品学	2後	2			1					1
	水産食品学	2後	2			1	1				
	食品工学	3前	2								1
	食品衛生学実験	3前	1			1	1				
	食品機能開発学	3後	2			2	0				1
	食品貯蔵・流通技術論	3後	2				1				1
	発酵食品・醸造学	3後	2			1	0				
	食品栄養・機能学実験	3後	1			1	1				1
	食品化学実験	3前	1			3	3				1
	ローカルフードシステム論	3前	2				1		0		1
	グローバルフードシステム論	3後	2			1	0				1
	調理科学	3後	2			1	0				
	企業倫理	4前	2			1	1				
	食感性科学	4前	2				1	1	0		
	ライフステージ栄養学	4前	2			1					
	解剖・生理学	4前	2								1
	食料生産経営学	3後	2								1
	食産業・政策史	4前	2				1				
	食品物理化学	3前	2								1
	分子生物学	3前	2								3
	水産資源学	4前	2			1					
	小計(42科目)										
	卒業研究サーベイ	3後	2			7	5	0	0		0
	卒業研究	4通	6			7	5	0	0		0
	小計(2科目)										
合計(131科目)											

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から30単位、専門科目から44単位(※)、卒業研究から8単位を履修し合計で127単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

(※)専門科目の共通科目19単位は全員必修とする。

フードビジネスコースは食産業経営科目A区分から必修11単位、B区分から選択3単位、専門関連科目から選択11単位を履修すること。

フードサイエンスコースは食生産・管理科学科目A区分から選択2単位、B区分から必修11単位、専門関連科目から選択12単位を履修すること。

全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門基礎科目	食産業学概論	1後	2			1					3
	有機化学	2前	2								
	経済経営学基礎	2前	2			1					1
	科学基礎実験	2前	1			1	1				11
	食料生産・加工実習Ⅰ	2前	1			0	1				8
	応用情報処理	2前	2								2
	応用統計学	2前	2			1	0	0			1
	キャリアデザインⅡ	2前	1			1					2
	インターンシップⅠ	2前	2				0	0			4
	微生物学	2後	2			2					
	環境科学	2後	2			1					1
	生化学	2後	2			1					
	専門基礎実験	2後	1			2	1				11
	食料生産・加工実習Ⅱ	2後	1			1	1				8
	キャリア開発Ⅰ	2後	1			1					4
	食料・農業・農村政策	3前	2			1	0				
	キャリア開発Ⅱ	3前	1								4
	インターンシップⅡ	3前	1	2			0				4
	キャリア開発Ⅲ	3後	1								2
	フードコミュニケーション	4前	2								1
専門科目	小計(20科目)										
	食料生産概論	2前	2								3
	食品企業経営論	2後	2			1					1
	食品マーケティング論	2後	2				1				
	食品化学	2後	2								
	農産食品学	2後	2			1					
	食品衛生学	3前	2				1				
	栄養科学	3前	2			1	0				
	食品の安全性管理	3後	2			1					
	品質保証システム演習	3後	1				2				
	食と未来	4後	2			1					
	食料経済論	3前		2		1					
	食品流通・情報論	3前		2			1				0
	食品企業経営戦略論	3前		2		1					
	フードシステム調査演習	3前	1			2	0		0		
	食産業政策論	3後	2			0					1
	フードサービス産業論	3後	2								1
	食品マーケティング演習	3後	1				1		0		
	食品企業経営戦略演習	3後	1			1					
	食品経済・政策論演習	3後	1			2	0				
卒業研究	フードサービス産業論演習	4前	1								1
	フードシステム解析演習	4前	1								2
	畜産食品学	2後	2			1					1
	水産食品学	2後	2			1	1				
	食品工学	3前	2								1
	食品衛生学実験	3前	1			1	1				
	食品機能開発学	3後	2			2	0				1
	食品貯蔵・流通技術論	3後	2				1				1
	発酵食品・醸造学	3後	2			1	0				
	食品栄養・機能学実験	3後	1			2	0				1
	食品化学実験	3前	1			4	2				2
	ローカルフードシステム論	3前	2				0		0		2
	グローバルフードシステム論	3後	2			1	0				1
	調理科学	3後	2			1	0				
	企業倫理	4前	2			2	0				
	食感性科学	4前	2			1	0	0	0		
	ライフステージ栄養学	4前	2			1					
	解剖・生理学	4前	2								2
	食料生産経営学	3後	2								1
	食産業・政策史	4前	2			1	0				
	食品物理化学	3前	2								2
	分子生物学	3前	2								3
	水産資源学	4前	2			2					
	小計(42科目)										
	卒業研究サーベイ	3後	2			8	3	0	0		0
	卒業研究	4通	6			8	3	0	0		0
	小計(2科目)										
合計(131科目)											

卒業要件及び履修方法

基盤教育科目から45単位、専門基礎科目から30単位、専門科目から44単位(※)、卒業研究から8単位を履修し合計で127単位履修すること。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

(※)専門科目の共通科目19単位は全員必修とする。

フードビジネスコースは食産業経営科目A区分から必修11単位、B区分から選択3単位、専門関連科目から選択11単位を履修すること。

フードサイエンスコースは食生産・管理科学科目A区分から選択2単位、B区分から必修11単位、専門関連科目から選択12単位を履修すること。

全学共通科目のコミュニティ・プランナー概論及び演習、グローバルインターンシップ、学外研修は基盤教育科目に参入可能。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・カリキュラムセンター教員の異動により、「大学での学び入門」の担当者を変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「社会の中で生きる」の担当者を変更
- ・「キャリアデザインⅠ」については、専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更
（「教授1」から「兼任1」へ）
- ・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を「兼任1」から「兼任3」に追加
（「准教授2」）
- ・少人数教育実施のため、「アカデミック・セミナー」の担当者を「兼任1」から「兼任3」に追加
（「准教授2」）
- ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を「兼任1」から「兼任10」に追加
- ・時間割編成に伴う担当者変更、また、複数クラス開講のため、「情報化社会と技術」の担当者を「兼任1」から「兼任2」に追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため担当者を変更、また、複数クラス開講のため、「データサイエンス入門」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・新規教員採用に伴う担当者変更、産休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading SkillsⅠ」は「兼任5」から「兼任3」へ減
- ・産休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Self-ExpressionⅠ」は「兼任5」から「兼任2」へ減
- ・新規教員採用に伴う担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading SkillsⅡ」は「兼任5」から「兼任3」へ減
- ・時間割編成に伴う担当者変更、産休による担当者変更、クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Self-ExpressionⅡ」は「兼任5」から「兼任3」へ減
- ・「中国語Ⅰ」は、履修の順序性を考慮し、配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更、また、時間割編成に伴い、担当者を変更
- ・時間割編成に伴い、「中国語Ⅱ」は、担当者を変更
- ・履修の順序性を考慮し、「韓国語Ⅱ」は、配当学期を「1・2前」から「1・2後」へ変更
- ・履修の順序性を考慮し、「Global StudiesⅠ」は、配当学期を「1・2後」から「1・2前」へ変更
- ・履修の順序性を考慮し、「Global StudiesⅡ」は、配当学期を「1・2前」から「1・2後」へ変更
- ・「全学自由ゼミ」は、副学群長へ担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「日本の歴史と文化」は、担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「東北の歴史と文化」は、担当者を変更
- ・時間割編成に伴い、「音楽」は、担当者を変更
- ・オムニバス科目への変更に伴い、「美術」は、「兼任1」から「兼任3」へ担当者を追加
- ・複数領域にまたがる芸術等講義科目「アートサイエンス概論」を追加開講（「兼任9」、履修者なしのため本年度は未開講）
- ・芸術等科目の実習科目「総合芸術」を追加開講（「兼任8」）
- ・時間割編成に伴い、「健康科学」は、担当者を「准教授1」から「教授1」へ変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「現代社会と哲学」は、担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「人と宗教」は、担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「憲法」は担当者を変更
- ・時間割編成に伴い、「社会と経済」は、担当者を変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「数理科学」は担当者を変更
- ・オムニバス科目への変更に伴い、「環境科学入門」は担当者を「教授0」から「教授1」へ追加
- ・「数学概論」は、新規専任教員採用に伴い担当者を変更、また、複数クラス開講のため担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・時間割編成に伴い、「物理概論」は担当者を変更
- ・複数クラス開講のため、「化学概論」は担当者を「教授0」から「教授1」へ追加
- ・「生物概論」は、時間割編成に伴い担当者を変更、また、複数クラス開講のため担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・「基礎統計学」は、時間割編成に伴い担当者を変更、また、複数クラス開講のため担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・留学生対象科目のため、「日本事情Ⅰ」は、国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更
- ・留学生対象科目のため、「日本事情Ⅱ」は、国際交流・留学生センターを担当する担当者へ変更
- ・「食産業学概論」は、昇任に伴い、「准教授1」から「教授1」へ変更
- ・「卒業研究サーベイ」は、昇任に伴う変更、研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減のため、「兼任1」から「兼任0」、「教授4」から「教授6」、「准教授8」から「准教授6」、「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」へ変更
- ・「卒業研究」は、昇任に伴う変更、研究室（ゼミ）で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減のため、「兼任1」から「兼任0」、「教授4」から「教授6」、「准教授8」から「准教授6」、「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」へ変更

【平成30年度】

- ・学群長変更により、「宮城大学の知の体系」の担当者を「吉田俊子」から「原玲子」へ変更
- ・少人数教育実施のため、「社会の中で生きる」の担当者を「兼任1」から「兼任5」へ追加
- ・少人数教育実施のため、「キャリアデザインⅠ」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を堀田宗徳、白川愛子、原田鉦一郎、井上達志に変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を堀田宗徳、白川愛子、原田鉦一郎、井上達志に変更
- ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を「兼任10」から「兼任12」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「情報化社会と技術」の担当者を富樫敦、須栗裕樹、秋月治、萩原潤、高橋信人、紺屋直樹に変更
- ・クラス数の見直しのため、「データサイエンス入門」の担当者を「兼任2」から「兼任6」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「English Reading SkillsⅠ」の担当者を「兼任3」から「兼任6」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-ExpressionⅠ」の担当者を「兼任2」から「兼任4」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「English Reading SkillsⅡ」の担当者を「兼任3」から「兼任5」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-ExpressionⅡ」の担当者を「兼任3」から「兼任4」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-ExpressionⅢ」の担当者を「兼任5」から「兼任4」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「English for Academic PurposesⅡ」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「Extensive Listening」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「Practical English」の担当者を「兼任3」から「兼任1」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を川村保、井上達志、三好俊文へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「美術」の担当者を「兼任3」から「兼任2」へ減
- ・クラス数の見直しのため、「健康科学」の担当者を真覚健、石川伸一、武田和久、風間逸郎、白川愛子へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「心理学」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「現代社会の諸相」の担当者を「石田祐」から「菅原謙」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「化学概論」の担当者を「専任（准教授）0」から「専任（准教授）1」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「生物概論」の担当者を「兼任2」から「兼任3」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「基礎統計学」の担当者を萩原潤、三浦幸平、高橋信人、川島滋和、須田義人、原田鉦一郎へ変更
- ・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者に川村保を追加
- ・学生に有益な産学連携科目である、「産学連携講座Ⅰ」を追加開講（川村保、兼任1）
- ・学生に有益な産学連携科目である、「産学連携講座Ⅱ」を追加開講（川村保、兼任2）
- ・少人数教育実施のため、「経済経営学基礎」の担当者を「兼任0」から「兼任1」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「科学基礎実験」の担当者を菊地郁、須田義人、大竹秀男、斎藤秀幸、毛利哲、原田鉦一郎、笠原紳、伊吹竜太、柳澤満則に変更
- ・クラス数の見直しのため、「食材生産・加工実習Ⅰ」の担当者を「兼任2」から「兼任4」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「応用情報処理」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「応用統計学」の担当者を木村和彦、川村保、谷口葉子に変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインⅡ」の担当者を須田義人、川村保、須藤祐子へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップⅠ」の担当者を須田義人、紺屋直樹、谷口葉子、堀田宗徳、菅原香奈子へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「微生物学」の担当者を「専任（准教授）1」から「専任（教授）2」へ追加
- ・クラス数の見直しのため、「環境科学」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ追加
- ・昇格のため、「生化学」の担当者を「専任（准教授）1」から「専任（教授）1」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「専門基礎実験」の担当者を木村和彦、須田義人、小林仁、森本素子、笠原紳、岩井孝尚、日渡祐二、菊地郁、毛利哲、斎藤秀幸、伊吹竜太、柳澤満則、金内誠、島津朋之へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「食材生産・加工実習Ⅱ」の担当者を毛利哲、井上達志、大竹秀男、斎藤秀幸、石田光晴、西川正純へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅰ」の担当者を須田義人、堀田宗徳、川村保、須藤祐子へ変更
- ・少人数教育実施のため、「食材生産概論」の担当者を「兼任1」から「兼任3」へ追加
- ・少人数教育実施のため、「食品企業経営論」の担当者を「専任（教授）0」から「専任（教授）1」へ追加
- ・少人数教育実施のため、「食品化学」の担当者を「兼任0」から「兼任1」へ追加
- ・昇格のため、「農産食品学」の担当者を「専任（准教授）1」から「専任（教授）1」へ変更
- ・少人数教育実施のため、「畜産食品学」の担当者を石川伸一、石田光晴へ変更
- ・君塚准教授の退職に伴い「食品工学」の担当者は後任が未定
- ・君塚准教授の退職に伴い「食品貯蔵・流通技術論」の担当者は後任が未定
- ・職位変更及び君塚准教授の退職に伴い、「食品化学実験」の担当者を金内誠、西川正純、石川伸一、菰田俊一、白川愛子、毛利哲、島津朋之へ変更
- ・職位変更及び君塚准教授の退職に伴い、「卒業研究サーベイ」の担当者を川村保、西川正純、三石誠司、笠原紳、石川伸一、金内誠、菰田俊一、白川愛子、都世蘭、毛利哲、森田明、谷口葉子へ変更
- ・職位変更及び君塚准教授の退職に伴い、「卒業研究」の担当者を川村保、西川正純、三石誠司、笠原紳、石川伸一、金内誠、菰田俊一、白川愛子、都世蘭、毛利哲、森田明、谷口葉子へ変更

【令和元年度】

- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を専任教授1, 兼任4へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を専任教授1, 兼任4へ変更
- ・時間割編成に伴い、「地域フィールドワーク」の担当者を兼任12から兼任13に変更
- ・少人数教育実施のため、「データサイエンス入門」の担当者を兼任5から兼任6へ変更
- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression I」の担当者を兼任4から兼任5へ変更
- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression II」の担当者をWilson, Nall, Chang、曾根洋明へ変更
- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression III」の担当者を兼任4から兼任5へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「中国語 I」の担当者を兼任1から兼任2へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「中国語 II」の担当者を兼任1から兼任2へ変更
- ・クラス数見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を専任教授1, 兼任3に変更
- ・時間割編成に伴い、「音楽」の担当者を渡部勝彦から日比野裕幸へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を中田千彦、鹿野護、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「総合芸術」の担当者を中田千彦、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
- ・クラス数見直しのため、「物理概論」の担当者を兼任3から兼任2へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、小林仁、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻に変更
- ・時間割編成に伴い、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を佐々木秀之、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、小林仁、大熊恵子、千葉克己、石田祐、安齋由貴子に変更
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、郷古雅春、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻に変更
- ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を川村保へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座 I」の担当者を川村保へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座 II」の担当者を川村保へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「科学基礎実験」の担当者を兼任7から兼任10へ変更
- ・少人数教育実施のため、「食材生産・加工実習 I」の担当者を兼任4から兼任7へ変更
- ・昇格に伴い、「応用統計学」の担当専任講師1が専任准教授へ変更
- ・昇格に伴い、「インターンシップ I」の担当専任講師1が専任准教授へ変更
- ・昇格に伴い、「食料・農業・農村政策」の担当専任准教授1が専任教授へ変更
- ・少人数教育実施のため、「食と未来」の担当者を専任教授1から2へ変更
- ・少人数教育実施のため、「食材生産・加工実習 II」の担当者を兼任3から兼任6へ変更
- ・少人数指導実施のため、「キャリア開発 II」の担当者を須田義人、川島滋和、堀田宗徳、須藤祐子へ変更
- ・少人数指導実施のため、「インターンシップ II」の担当者を須田義人、紺屋直樹、谷口葉子、堀田宗徳、菅原香奈子へ変更
- ・少人数指導実施のため、「キャリア開発 III」の担当者を須田義人、堀田宗徳子へ変更
- ・科目内容充実のため、「フードコミュニケーション」の担当者を池戸重信から作田竜一に変更
- ・少人数指導実施のため、「品質保証システム演習」の担当者に専任准教授1を追加
- ・昇格に伴い、「フードシステム調査演習」の担当専任助教1が専任准教授へ変更
- ・教員の担当分担に伴い、「食産業政策論」の担当者を森田明から作田竜一へ変更
- ・昇格に伴い、「食品マーケティング演習」の担当専任助教1が専任准教授へ変更
- ・昇格に伴い、「食品経済・制作論演習」の担当専任准教授1が専任教授へ変更
- ・石田光晴教授の退官に伴い、「畜産食品学」は専任教授1が兼任1に変更となるが、設置時の計画通り
- ・君塚道史の退職に伴い、後任未定となっていた「食品工学」は庄子真樹が担当
- ・昇格に伴い、「食品機能開発学」の担当専任准教授1が専任教授へ変更
- ・君塚道史の退職に伴い、後任未定となっていた「食品貯蔵・流通技術論」は兼任1として本人が継続実施
- ・昇格に伴い、「発酵食品・醸造学」の担当専任准教授1が専任教授へ変更
- ・少人数指導実施のため、「食品栄養・機能学実験」の担当者に兼任1を追加、昇格に伴い、専任准教授1が教授に変更
- ・君塚道史の退職に伴い、後任未定となっていた「食品化学実験」は金内誠、西川正純、石川伸一、菰田俊一、白川愛子、毛利哲、島津朋之で実施
- ・少人数教育実施のため、「グローバルフードシステム論」の担当者に兼任1を追加、昇格に伴い、専任助教1が准教授に変更
- ・少人数教育実施のため、「ローカルフードシステム論」の担当者に兼任1を追加、昇格に伴い、専任准教授1が教授に変更
- ・昇格に伴い、「調理科学」の担当専任准教授1が専任教授へ変更
- ・科目内容充実のため、「食品物理化学」の担当者を鈴木康夫から藤井智幸に変更
- ・少人数教育実施のため、「分子生物学」の担当者に須田義人を追加
- ・昇格に伴い、「卒業研究サーベイ」の担当専任講師1が専任准教授へ変更
- ・昇格に伴い、「卒業研究」の担当専任講師1が専任准教授へ変更

【令和2年度】

- ・クラス数の見直しのため、「社会の中で生きる」の担当者を「兼担1」から「兼担4」へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を「兼担1」から「兼担4」に変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を「兼担1」から「兼担4」に変更
- ・実習地域変更のため、「地域フィールドワーク」の担当者を「兼担1」から「専任（教授）1」「兼担14」に変更
- ・少人数指導実施のため、「情報化社会と技術」の担当者を「兼担1」から「兼担4」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-Expression I」の担当者を「兼担5」から「兼担5」「兼任1」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-Expression II」の担当者を「兼担5」から「兼担5」「兼任1」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English for Academic Purposes I」の担当者を「兼担4」「兼任1」から「兼任3」「兼任1」へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-Expression III」の担当者を「兼担5」から「兼担4」へ変更
- ・クラスサイズ適正化のため、「韓国語 I」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ変更
- ・クラスサイズ適正化のため、「韓国語 II」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ変更
- ・時間割編成に伴い、「環境科学入門」の担当者を「兼担1」から「兼担2」「兼任1」へ変更
- ・実習地域変更のため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を「兼担1」から「兼担11」に変更
- ・実習地域変更のため、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を「兼担1」から「兼担10」に変更
- ・実習地域変更のため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を「兼担1」から「兼担10」に変更
- ・少人数指導実施のため、「科学基礎実験」の担当者を「専任（准教授）2」「兼担1」を「専任（教授）1」「専任（准教授）1」「兼担11」に変更
- ・少人数指導実施のため、「食材生産・加工実習 I」の担当者を「専任（教授）1」「専任（准教授）1」「兼担1」を「専任（准教授）1」「専任（講師）1」「兼担8」に変更
- ・専任教員の退職に伴い、「応用統計学」の担当者を「専任（教授）1」「専任（助教）1」から「専任（教授）1」「兼担1」に変更
- ・クラス数見直しのため、「インターンシップ I」の担当者を「兼担1」から「兼担3」「兼任1」に変更
- ・時間割編成に伴い、「環境科学」の担当者を「兼担1」から「専任（教授）1」「兼任1」に変更
- ・少人数指導実施のため、「食材生産・加工実習 II」の担当者を「専任（教授）1」「専任（准教授）1」「兼担1」を「専任（教授）1」「専任（准教授）1」「兼担8」に変更
- ・少人数指導実施のため、「キャリア開発 I」の担当者を「兼担1」から「専任（教授）1」「兼担2」「兼任2」へ変更
- ・クラス数見直しのため、「インターンシップ II」の担当者を「兼担1」から「兼担3」「兼任1」に変更
- ・クラス数見直しのため、「食材生産概論」の担当者を「兼担1」から「兼担3」に変更
- ・昇格に伴い、「栄養科学」の担当者を「専任（准教授）1」から「専任（教授）1」へ変更
- ・専任教員の退職に伴い、「フードシステム調査演習」の担当者を「専任（助教）1」から「専任（教授）2」に変更
- ・専任教員の退職に伴い、「食品マーケティング演習」の担当者を「専任（准教授）1」「専任（助教）1」から「専任（准教授）1」に変更
- ・少人数指導実施のため、「フードシステム解析演習」の担当者を「兼担1」から「兼担2」へ変更
- ・昇格に伴い、「食品栄養・機能学実験」の担当者を「専任（准教授）1」から「専任（教授）2」「兼担1」へ変更
- ・昇格に伴いかつ少人数指導実施のため、「食品化学実験」の担当者を「専任（教授）1」「専任（准教授）6」「兼担1」から「専任（教授）4」「専任（准教授）2」「兼担2」に変更
- ・専任教員の退職に伴い、「ローカルフードシステム論」の担当者を「専任（助教）1」から「兼担1」「兼任1」に変更
- ・専任教員の昇任に伴い、「企業倫理」の担当者を「専任（教授）1」「専任（准教授）1」から「専任（教授）2」に変更
- ・専任教員の退職に伴い、「食感性科学」の担当者を「専任（准教授）1」「専任（助教）1」から「専任（教授）1」に変更
- ・少人数指導実施のため、「解剖・生理学」の担当者を「兼担1」から「兼担2」へ変更
- ・専任教員の昇任に伴い、「食産業・政策史」の担当者を「専任（准教授）1」から「専任（教授）1」に変更
- ・少人数指導実施のため、「食品物理化学」の担当者を「兼担1」から「兼担2」へ変更
- ・少人数指導実施のため、「水産資源学」の担当者を「専任（教授）1」から「専任（教授）2」へ変更
- ・専任教員の昇任、退職に伴い、「卒業研究サーベイ」の担当者を「専任（教授）4」「専任（准教授）8」「専任（助教）1」から「専任（教授）8」「専任（准教授）3」に変更
- ・専任教員の昇任、退職に伴い、「卒業研究」の担当者を「専任（教授）4」「専任（准教授）8」「専任（助教）1」から「専任（教授）8」「専任（准教授）3」に変更

【令和3年度】

- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を「専任（教授）2」「兼任3」に変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を「専任（教授）2」「兼任3」に変更
- ・実習地域変更のため、「地域フィールドワーク」の担当者を「専任（教授）1」「兼任13」に変更
- ・時間割編成に伴い、「環境科学入門」の担当者を「兼任1」から「兼任2」へ変更
- ・昇格に伴い、「化学概論」の担当者を「専任（教授）1」「専任（准教授）1」から「専任（教授）2」へ変更
- ・時間割編成に伴い、「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」の担当者を「兼任1」から「兼任1」「兼任1」へ変更
- ・少人数指導実施のため、「応用情報処理」の担当者を「兼任3」に変更
- ・時間割編成に伴い、「キャリアデザインⅡ」の担当者を「専任（教授）1」「兼任2」から「兼任2」に変更
- ・少人数指導実施のため、「微生物学」の担当者に「兼任1」を追加
- ・クラス数見直しのため、「キャリア開発Ⅰ」の担当者を「専任（教授）1」「兼任4」から「兼任4」に変更
- ・少人数指導実施のため、「食品マーケティング論」の担当者に「兼任1」「兼任2」を追加
- ・昇格に伴い、「食品化学」の担当者を「専任（教授）1」「専任（准教授）1」に変更
- ・昇格に伴い、「畜産食品学」の担当者を「兼任1」から「専任（准教授）1」に変更
- ・少人数指導実施のため、「畜産食品学」の担当者に「兼任1」を追加
- ・少人数指導実施のため、「食と未来」の担当者を「専任（教授）10」「専任（准教授）1」「兼任7」に変更
- ・教員採用及び、少人数指導実施のため、「フードシステム調査演習」の担当者に「兼任2」を追加
- ・少人数指導実施のため、「食品マーケティング演習」の担当者に「兼任1」「兼任1」を追加
- ・昇格に伴い、「食品化学実験」の担当者を「兼任1」から「専任（准教授）1」に変更
- ・少人数指導実施のため、「食品化学実験」の担当者に「兼任1」を追加
- ・教員採用及び、少人数指導実施のため、「ローカルフードシステム論」の担当者に「専任（教授）1」「兼任1」「兼任1」を追加
- ・時間割編成に伴い、「食感性科学」の担当者を「専任（教授）1」から「兼任1」へ変更
- ・時間割編成に伴い、「ライフステージ栄養学」の担当者に「兼任1」を追加
- ・時間割編成に伴い、「解剖・生理学」の担当者を「兼任1」に変更
- ・教員採用に伴い、「食産業・政策史」の担当者に「兼任1」を追加
- ・時間割編成に伴い、「水産資源学」の担当者を「専任（教授）2」から「専任（教授）1」「兼任1」「兼任1」へ変更
- ・教員採用及び、少人数指導実施のため、「卒業研究サーベイ」の担当者に「兼任5」を追加

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
47 科目	78 科目	2 科目	127 科目	49 科目 [2]	78 科目 []	4 科目 [2]	131 科目 [4]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{127} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 施設改修のため(3)				
	校 舎 敷 地	69,001 66,769 m ²	m ²	m ²	m ²					
	運動場用地	26,661 m ²	m ²	m ²	m ²					
	小 計	95,162 93,430 m ²	m ²	m ²	m ²					
	そ の 他	598,464 598,964 m ²	m ²	m ²	m ²					
	合 計	694,126 692,394 m ²	m ²	m ²	m ²					
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 施設改修のため(3)					
	62,369 60,137 m ² (62,369 60,137m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	62,369 60,137 m ² (62,369 60,137m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	施設改修のため(29)(30)(3) ラーニング・commons新設に伴う施設利用見直しのため(30) 施設利用の実態に合わせた見直しのため(元)(2)				
	34 27 28 25 28 27 室	35 36 室	47-38 37 31 33 32 室	3 4 6 室 (補助職員 人)	2 3 2 室 (補助職員 1人)					
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		施設利用方法の見直しのため (29)(30)(元)(2)(3)				
	食産業学群 フードマネジメント学類			27 26 27 29 28 27 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 (うち外国書)	学術雑誌 (うち外国書)	電子ジャーナル (うち外国書)	視聴覚資料	機械・器具	標 本	蔵書見直しのため (29)(30)(元)(2)(3) 電子ジャーナルについては、 タイトル数の数え方について 再検討したため。(H29学術基 盤実態調査より)		
	食産業学群	冊	種	点	点	点	点			
		70,366 [7,280] 70,753 [7,378] 69,751 [7,368] 71,572 [7,268] 77,943 [9,537] (70,434 [7,311]) (70,366 [7,280]) (69,973 [7,268]) (69,151 [7,136]) (68,572 [7,118]) (59,526 [7,017])	2,504 [258] 2,507 [256] 2,505 [280] 4,447 [552] 2,507 [259] 2,504 [256] (2,500 [257]) (2,489 [268]) (2,967 [352])	6,979 [5,527] 6,858 [5,527] 6,538 [5,087] 16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (6,852 [5,130]) (6,979 [5,527]) (6,858 [5,527]) (6,538 [5,087]) (16,172 [13,595]) (18,000 [15,700])	2,301 2,314 2,332 2,478 (2,317) (2,301) (2,284) (2,253) (2,212) (2,118)	()	()		()	
		計	70,366 [7,280] 70,753 [7,378] 69,751 [7,368] 71,572 [7,268] 77,943 [9,537] (70,434 [7,311]) (70,366 [7,280]) (69,973 [7,268]) (69,151 [7,136]) (68,572 [7,118]) (59,526 [7,017])	2,504 [258] 2,507 [256] 2,505 [280] 4,447 [552] 2,507 [259] 2,504 [256] (2,500 [257]) (2,489 [268]) (2,967 [352])	6,979 [5,527] 6,858 [5,527] 6,538 [5,087] 16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (6,852 [5,130]) (6,979 [5,527]) (6,858 [5,527]) (6,538 [5,087]) (16,172 [13,595]) (18,000 [15,700])	2,301 2,314 2,332 2,478 (2,317) (2,301) (2,284) (2,253) (2,212) (2,118)	()		()	()
		計	70,366 [7,280] 70,753 [7,378] 69,751 [7,368] 71,572 [7,268] 77,943 [9,537] (70,434 [7,311]) (70,366 [7,280]) (69,973 [7,268]) (69,151 [7,136]) (68,572 [7,118]) (59,526 [7,017])	2,504 [258] 2,507 [256] 2,505 [280] 4,447 [552] 2,507 [259] 2,504 [256] (2,500 [257]) (2,489 [268]) (2,967 [352])	6,979 [5,527] 6,858 [5,527] 6,538 [5,087] 16,172 [13,595] 18,000 [15,700] (6,852 [5,130]) (6,979 [5,527]) (6,858 [5,527]) (6,538 [5,087]) (16,172 [13,595]) (18,000 [15,700])	2,301 2,314 2,332 2,478 (2,317) (2,301) (2,284) (2,253) (2,212) (2,118)	()		()	()
(6) 図 書 館	面 積	開 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		レイアウト見直しのため (29)(元)(2)(3)				
	3,119 3,136m ²	298 306 318 304 300		274,889						
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要								
	4,897m ²	テニスコート		トレーニング室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	教員1人当たり研究費は教員数増加に伴う研究費配分の見直しのため(29) 図書購入費は一部電子ジャーナル契約終了のため(29) 設備購入費は平成29年度予算編成に伴うもの(29) 令和2年度予算編成に伴うもの(2)	
	学生1人当り 納付金	教員1人当り研究費等	231 247千円	250 247千円	図書購入費	66,728千円	64,426 66,728千円	61,739 66,728千円		
		共同研究費等	51,000千円	39,700 51,000千円	設備購入費	51,776千円	41,639 51,776千円	48,516 51,776千円		
		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		県内 818千円 県外 1,100千円	535千円	535千円	535千円	535千円	535千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		大学の維持運営に当たって、学生納付金で不足する経費については、宮城県の運営費交付金等を充当する。								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	宮城大学						学生募集停止学科数	5	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
事業構想学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
事業計画学科	4	100	-	400	学士(事業計画学)	-	-	-	平成9年度	宮城県黒川郡大和町学苑1番地1	平成29年度より学生募集停止
デザイン情報学科	4	100	-	400	学士(デザイン情報学)	-	-	-	平成9年度	同上	平成29年度より学生募集停止
食産業学部									平成17年度	宮城県仙台市太白区旗立2丁目2番1号	平成29年度より学生募集停止
ファームビジネス学科	4	42	-	168	学士(食産業学)	-	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より学生募集停止
フードビジネス学科	4	52	-	208	学士(食産業学)	-	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より学生募集停止
環境システム学科	4	31	-	124	学士(食産業学)	-	-	-	平成17年度	同上	平成29年度より学生募集停止
看護学群									平成9年度	宮城県黒川郡大和町学苑1番地1	平成29年度より看護学部から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
看護学類	4	95	5	380	学士(看護学)	1.05	1.06	-	平成9年度	同上	平成29年度より看護学科から名称変更 ※編入はH29, H30募集のみ
事業構想学群									平成29年度	宮城県黒川郡大和町学苑1番地1	
事業プランニング学類	4	60	-	240	学士(事業プランニング学)	1.05	1.08	-	平成29年度	同上	入学時は、一部の選抜区分を除き、事業構想学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。
地域創生学類	4	60	-	240	学士(地域創生学)	1.05	1.08	-	平成29年度	同上	
価値創造デザイン学類	4	80	-	320	学士(価値創造デザイン学)	1.06	1.06	-	平成29年度	同上	
食産業学群									平成29年度	宮城県仙台市太白区旗立2丁目2番1号	
食資源開発学類	4	62	-	248	学士(食産業学)	1.05	1.09	-	平成29年度	同上	入学時は、一部の選抜区分を除き、食産業学群としての学群一括入試のため、学群全体を各学類で按分して記載しており、2年次進級時に学類を決定して収容する。
フードマネジメント学類	4	63	-	252	学士(食産業学)	1.05	1.09	-	平成29年度	同上	

大 学 の 名 称	宮城大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所 在 地	
看護学研究科 看護学専攻	年	人	年次	人		倍	倍			宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1	
博士課程前期2年課程	2	10	-	20	修士(看護学)	0.80	0.30	-	平成13年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士(看護学)	0.33	0.33	-	平成22年度	同上	
事業構想学研究科 事業構想学専攻										宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1	
博士課程前期2年課程	2	20	-	40	修士(事業構想学)	0.62	0.70	-	平成13年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士(事業構想学)	0.55	0.66	-	平成20年度	同上	
食産業学研究科 食産業学専攻										宮城県仙台市太白区旗立 2 丁目 2 番 1 号	
博士課程前期2年課程	2	13	-	26	修士(食産業学)	0.84	0.92	-	平成21年度	同上	
博士課程後期3年課程	3	3	-	9	博士(食産業学)	0.77	1.00	-	平成25年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(1) 一① 担当教员表

【認可時又は届出時】	
専任・	係 員

報告年度の5月1日現在の情を記入してください。(通学年については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ② 報告申請年度は役職出番の欄を第3号（その2の1）に適用して作成してください。
 「認可可定員超過」には、役職申請時又は出番時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
 ③ ところで、**既出番又は出番から要請として出た箇所は赤字としてください。**
 各種の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認ください。
 ④ 年齢は、**それ年度の5月1日現在の年齢**を記入してください。
 ⑤ 専任（専門大学等は専任、実専、実研（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
 ⑥ 不要な年度（平成30年度以降であれば平成29年度の）の表は適宜削除し、改めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・研究室(セミ)で研究を行う学生数上限の見直しに伴う担当者の減のため、「卒業研究サーベイ」、「卒業研究」は、石田光晴講師担当分は実施せず ・「キャリアデザインⅠ」は、専門科目のキャリア教育科目を担当する担当者へ変更のため、川村保教授から須藤祐子講師へ変更 ・複数クラス開講のため、「化学概論」の担当に、笠原紳教授を追加 ・オムニバス科目への変更に伴い、「環境科学入門」の担当に、笠原紳教授を追加 ・時間割編成に伴い、「健康科学」の担当を、石川伸一教授へ変更 ・業績追加により、石川伸一氏は、准教授から教授へ昇格 ・業績追加により、金内誠氏は、准教授から教授へ昇格 ・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」の担当に、蒔田俊一准教授を追加 ・時間割編成に伴い、「健康科学」の担当を、白川愛子准教授から石川伸一教授へ変更 ・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」の担当に、毛利哲准教授を追加 ・業績追加により、谷口葉子氏は、助教から講師へ昇格 ・カリキュラムセンター教員の異動に伴い、「大学での学び入門」の担当を、木村和彦教授から蒔苗耕司教授へ変更 ・学群の科目とりまとめの教員へ変更のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」の担当を、木村和彦教授から中村茂雄教授へ変更 ・「全学自由ゼミ」の担当を、木村和彦教授から副学群長 井上達志教授へ変更 ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「社会の中で生きる」は、徳永幸之教授から藤澤由和教授へ担当者を変更 ・時間割編成に伴い、「情報化社会と技術」の担当を、茅原拓朗教授から高橋信人准教授へ変更 ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「データサイエンス入門」の担当を、茅原拓朗教授から萩原潤准教授へ変更 ・新規教員採用に伴い、「English Reading SkillsⅠ」、「English Reading SkillsⅡ」の担当を、MATTHEW WILSON教授から川井一枝准教授へ変更 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、河西敬幸教授担当 ・留学生対象科目のため、「日本事情Ⅰ」、「日本事情Ⅱ」の担当を、弓谷行宏教授から国際交流・留学生センターを担当する山本まゆみ准教授へ変更 ・「全学自由ゼミ」の担当を、副学群長 井上達志教授へ変更 ・複数クラス開講のため、「生物概論」の担当に、小林仁教授を追加 ・時間割編成に伴い、「生物概論」の担当を、岩井孝尚教授へ変更 ・複数クラス開講のため、「データサイエンス入門」の担当に、須田義人教授を追加 ・時間割編成に伴い、「基礎統計学」の担当を、須田義人教授へ変更 ・時間割編成に伴い、「社会と経済」の担当を、金子浩一准教授から川島滋和准教授へ変更 ・産休により、「English Reading SkillsⅠ」の担当を、小島(栗田)さつき准教授から、菅原真理講師へ変更 ・産休により、「English Self-ExpressionⅠ」、「English Self-ExpressionⅡ」の担当を、小島(栗田)さつき准教授から、CRAIG McDONALD講師へ変更 ・クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading SkillsⅠ」は、小島(栗田)さつき准教授担当分は実施せず ・クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading SkillsⅠ」、「English Self-ExpressionⅠ」、「English Self-ExpressionⅡ」は、曾根洋明准教授担当分については実施せず ・留学生対象科目のため、「日本事情Ⅰ」、「日本事情Ⅱ」の担当を、国際交流・留学生センターを担当する山本まゆみ准教授へ変更 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、土岐謙次准教授担当 ・時間割編成に伴い、「基礎統計学」の担当を、萩原潤准教授から須田義人教授へ変更 ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「データサイエンス入門」の担当を、萩原潤准教授へ変更 ・時間割編成に伴い、「情報化社会と技術」の担当を、高橋信人准教授へ変更 ・時間割編成に伴い、「物理概論」の担当を、原田純一郎准教授から富樫千之教授へ変更 ・時間割編成に伴い、「生物概論」の担当を、日渡祐二准教授から岩井孝尚教授へ変更 ・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」の担当に、川島滋和准教授を追加 ・複数クラス開講のため、「基礎統計学」の担当に、川島滋和准教授を追加 ・時間割編成に伴い、「社会と経済」の担当を、川島滋和准教授へ変更 ・複数クラス開講のため、「情報化社会と技術」の担当に、老川信也准教授を追加 ・クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Self-ExpressionⅠ」、「English Self-ExpressionⅡ」は、佐藤麗講師担当分については実施せず ・クラス数の減に伴う担当者の減のため、「English Reading SkillsⅠ」、「English Self-ExpressionⅠ」、「English Reading SkillsⅡ」は、MATTHEW NALL助教担当分については実施せず ・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionⅡ」の担当を、MATTHEW NALL助教からJERRY MILLER講師へ変更 ・時間割編成に伴い、「中国語Ⅰ」、「中国語Ⅱ」の担当を、蕨野望講師から、西貝定行講師へ変更 ・新規専任教員採用に伴い、「日本の歴史と文化」、「東北の歴史と文化」の担当を、伊藤大介講師から、三好俊文准教授へ変更 ・時間割編成に伴い、「音楽」の担当を、佐藤寿一講師から渡部勝彦講師へ変更 ・新規専任教員採用に伴い、「現代社会と哲学」の担当を、佐藤駿講師から菅原謙准教授へ変更 ・新規専任教員採用に伴い、「人と宗教」の担当を、木村敏明講師から菅原謙准教授へ変更 ・新規専任教員採用に伴い、「憲法」の担当を、曾我洋介講師から仲宗根卓講師へ変更 ・新規専任教員採用に伴い、「数理科学」、「数学概論」の担当を、小野秀壽講師から三浦幸平准教授へ変更 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、郷久雅春教授を追加 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、平岡善浩教授を追加 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、舟引敏明教授を追加 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、佐々木秀之准教授を追加 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、千葉克己准教授を追加 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、三浦幸平准教授を追加 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、菅原謙准教授を追加 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、三好俊文准教授を追加 ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当に、仲宗根卓講師を追加 ・少人数教育実施のため、「スタートアップ・セミナー」、「アカデミック・セミナー」の担当に、菊地(今野)郁准教授を追加 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、中田千彦教授担当 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」は、鹿野護教授担当 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、渡部勝彦講師担当 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、相澤富美江講師担当 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、高山登講師担当 ・オムニバス科目への変更に伴い、「美術」の担当に、高山登講師を追加 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、青野文昭講師担当 ・オムニバス科目への変更に伴い、「美術」の担当に、青野文昭講師を追加 ・追加開講科目の「アートサイエンス概論」、「総合芸術」は、渡辺誠一郎講師担当 ・複数クラス開講のため、「数学概論」の担当に、上野晴夫講師を追加 ・複数クラス開講のため、「数学概論」の担当に、里見宗久講師を追加
--

【平成30年度】

- ・学群長変更により、「宮城大学の知の体系」の担当者を原玲子、風見正三、西川正純へ変更
- ・少人数教育実施のため、「社会の中で生きる」の担当者を藤澤由和、石田祐、菅原謙、三好俊文、仲宗根卓へ変更
- ・少人数教育実施のため、「キャリアデザインⅠ」の担当者を宮崎良徳、須田義人、須藤祐子へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を堀田宗徳、白川愛子、原田鉱一郎、井上達志へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を堀田宗徳、白川愛子、原田鉱一郎、井上達志へ変更
- ・学外での演習を伴うため、「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、安齋由貴子、大熊恵子、高橋信人、石田祐、風間逸郎、中沢峻へ変更
- ・「情報化社会と技術」の担当者を富樫敦、須栗裕樹、秋月治、萩原潤、高橋信人、紺屋直樹へ変更
- ・「データサイエンス入門」の担当者を三浦幸平、富樫敦、須栗裕樹、萩原潤、須田義人、石内鉄平へ変更
- ・「English Reading SkillsⅠ」の担当者を小島さつき、曾根洋明、佐藤麗、川井一枝、弓谷行宏、畠山喜彦へ変更
- ・「English Self-ExpressionⅠ」の担当者をWilson, Nall, Macdonald, Changへ変更
- ・「English Reading SkillsⅡ」の担当者を小島さつき、曾根洋明、佐藤麗、川井一枝、畠山喜彦へ変更
- ・「English Self-ExpressionⅡ」の担当者をWilson, Nall, Macdonald, Changへ変更
- ・「English Self-ExpressionⅢ」の担当者をWilson, Nall, Macdonald, Changへ変更
- ・「English for Academic PurposesⅡ」の担当者を小島さつきへ変更
- ・「Extensive Listening」の担当者を曾根洋明へ変更
- ・「Practical English」の担当者を曾根洋明へ変更
- ・「全学自由ゼミ」の担当者を川村保、井上達志、三好俊文へ変更
- ・「美術」の担当者を土岐謙次、青野文昭へ変更
- ・「健康科学」の担当者を真覚健、石川伸一、武田和久、風間逸郎、白川愛子へ変更
- ・「心理学」の担当者を山田嘉明、真覚健へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「現代社会の諸相」の担当者を菅原謙へ変更
- ・「化学概論」の担当者を菰田俊一、笠原紳へ変更
- ・「生物概論」の担当者を小林仁、日渡祐二、岩井孝尚へ変更
- ・「基礎統計学」の担当者を萩原潤、三浦幸平、高橋信人、川島滋和、須田義人、原田鉱一郎へ変更
- ・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・学外での演習を伴うため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・「学外研修」の担当者に川村保を追加
- ・追加開講科目の「産学連携講座Ⅰ」は、藤澤由和教授、川村保教授が担当
- ・追加開講科目の「産学連携講座Ⅱ」は、石内鉄平准教授、鈴木優准教授、川村保教授が担当
- ・少人数教育実施のため、「経済経営学基礎」の担当者を川村保、紺屋直樹へ変更
- ・「科学基礎実験」の担当者を菊地郁、須田義人、大竹秀男、斎藤秀幸、毛利哲、原田鉱一郎、笠原紳、伊吹竜太、柳澤満則へ変更
- ・「食料生産・加工実習Ⅰ」の担当者を大竹秀男、井上達志、斎藤秀幸、中村聡、毛利哲、石田光晴へ変更
- ・「応用情報処理」の担当者を原田鉱一郎、紺屋直樹へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「応用統計学」の担当者を木村和彦、紺屋直樹へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリアデザインⅡ」の担当者を須田義人、川村保、須藤祐子へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「インターンシップⅠ」の担当者を須田義人、紺屋直樹、谷口葉子、堀田宗徳、菅原香奈子へ変更
- ・「微生物学」の担当者を金内誠、笠原紳へ変更
- ・「環境科学」の担当者を原田茂樹、神宮宇寛へ変更
- ・「専門基礎実験」の担当者を木村和彦、須田義人、小林仁、森本素子、笠原紳、岩井孝尚、日渡祐二、菊地郁、毛利哲、斎藤秀幸、伊吹竜太、柳澤満則、金内誠、島津朋之へ変更
- ・「食料生産・加工実習Ⅱ」の担当者を毛利哲、井上達志、大竹秀男、斎藤秀幸、石田光晴、西川正純へ変更
- ・キャリア教育担当者が実施するため、「キャリア開発Ⅰ」の担当者を須田義人、堀田宗徳、川村保、須藤祐子へ変更
- ・少人数教育実施のため、「食料生産概論」の担当者を中村聡、井上達志、齋藤満保へ変更
- ・少人数教育実施のため、「食品企業経営論」の担当者を堀田宗徳、三石誠司へ変更
- ・少人数教育実施のため、「食品化学」の担当者を毛利哲、津志田藤二郎へ変更
- ・少人数教育実施のため、「畜産食品学」の担当者を石川伸一、石田光晴へ変更
- ・君塚准教授の退職に伴い「食品工学」の担当者は次年度までに補充予定（次年度以降開講のため今年度支障なし）
- ・君塚准教授の退職に伴い「食品貯蔵・流通技術論」の担当者は次年度までに補充予定（次年度以降開講のため今年度支障なし）
- ・職位変更及び君塚准教授の退職に伴い、「食品化学実験」の担当者を金内誠、西川正純、石川伸一、菰田俊一、白川愛子、毛利哲、島津朋之へ変更
- ・職位変更及び君塚准教授の退職に伴い、「卒業研究サーベイ」の担当者を川村保、西川正純、三石誠司、笠原紳、石川伸一、金内誠、菰田俊一、白川愛子、都世蘭、毛利哲、森田明、谷口葉子へ変更
- ・職位変更及び君塚准教授の退職に伴い、「卒業研究」の担当者を川村保、西川正純、三石誠司、笠原紳、石川伸一、金内誠、菰田俊一、白川愛子、都世蘭、毛利哲、森田明、谷口葉子へ変更

【令和元年度】

- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を小林仁、笠原紳、金内誠、森田明、作田竜一へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を堀田宗徳、白川愛子、原田毓一郎、井上達志へ変更
- ・少人数教育実施のため、「データサイエンス入門」の担当者に石内鉄平を追加
- ・時間割編成に伴い、「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、木村三香、大熊恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈緒、川島滋和、中沢峻へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「科学基礎実験」の担当者に元木康介を追加
- ・少人数指導実施のため、「食品栄養・機能学実験」の担当者に島津朋之を追加
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、小林仁、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・時間割編成に伴い、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を佐々木秀之、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、小林仁、大熊恵子、千葉克己、石田祐、安齋由貴子に変更
- ・クラス数の見直しのため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、高橋信人、大熊恵子、佐々木秀之、郷古雅春、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻に変更
- ・クラス数見直しのため、「全学自由ゼミ」の担当者を井上達志、西川正純、堀田宗徳、川島滋和に変更
- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression I」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗へ変更
- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Chang、曾根洋明へ変更
- ・時間割編成に伴い、「English Self-Expression III」の担当者をWilson、Nall、Chang、小島さつき、佐藤麗へ変更
- ・少人数指導実施のため、「キャリア開発Ⅱ」の担当者を須田義人、川島滋和、堀田宗徳、須藤祐子へ変更
- ・少人数指導実施のため、「インターンシップⅡ」の担当者を須田義人、紺屋直樹、谷口葉子、堀田宗徳、菅原香奈子へ変更
- ・少人数指導実施のため、「キャリア開発Ⅲ」の担当者を須田義人、堀田宗徳子へ変更
- ・クラス数見直しのため、「物理概論」の担当者を神宮字寛、原田毓一郎へ変更
- ・教員の担当分担に伴い、「食産業政策論」の担当者を森田明から作田竜一へ変更
- ・時間割編成に伴い、「音楽」の担当者を渡部勝彦から日比野裕幸へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「アートサイエンス概論」の担当者を中田千彦、鹿野護、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「総合芸術」の担当者を中田千彦、河西敏幸、土岐謙次、相澤富美江、青野文昭、渡辺誠一郎へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「中国語Ⅰ」、「中国語Ⅱ」の担当者に王效紅を追加
- ・クラス数の見直しのため、「学外研修」の担当者を川村保へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座Ⅰ」の担当者を川村保へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「産学連携講座Ⅱ」の担当者を川村保へ変更
- ・石田光晴の退官に伴い、「畜産食品学」「食材生産・加工実習Ⅰ」「食材生産・加工実習Ⅱ」は非常勤教員（兼任）扱いで本人が継続実施
- ・少人数教育実施のため、「品質保証システム演習」の担当者に毛利哲を追加
- ・少人数教育実施のため、「分子生物学」の担当者に須田義人を追加
- ・少人数教育実施のため、「グローバルフードシステム論」の担当者に川島滋和を追加
- ・少人数教育実施のため、「ローカルフードシステム論」の担当者に紺屋直樹を追加
- ・科目内容充実のため、「フードコミュニケーション」の担当者を池戸重信から作田竜一に変更
- ・科目内容充実のため、「食品物理化学」の担当者を鈴木康夫から藤井智幸に変更
- ・君塚道史の退職に伴い、後任未定となっていた「食品工学」は庄子真樹が担当
- ・君塚道史の退職に伴い、後任未定となっていた「食品貯蔵・流通技術論」は非常勤教員（兼任）扱いで本人が継続実施
- ・君塚道史の退職に伴い、後任未定となっていた「食品化学実験」は金内誠、西川正純、石川伸一、菰田俊一、白川愛子、毛利哲、島津朋之で実施

【令和2年度】

- ・学群長変更により、「宮城大学の知の体系」の担当者を高橋和子、中田千彦、西川正純へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「社会の中で生きる」の担当者を藤澤由和、石田佑、三好俊文、仲宗根卓に変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を岩井孝尚、庄子真樹、日渡祐二、森本素子へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を岩井孝尚、庄子真樹、日渡祐二、森本素子へ変更
- ・実習地域変更のため、「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、風見正三、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、木村三香、大熊恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈緒、川島滋和、中沢峻、西川正純、小林仁へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-Expression I」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗、Kavanaへ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-Expression II」の担当者をWilson、Nall、Chang、曾根洋明、Kvanaへ変更
- ・時間割編成に伴い、「English Reading Skills II」の担当者を曾根洋明から弓谷行宏へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English for Academic Purposes I」の担当者を小島さつき、曾根洋明、川井一枝、畠山喜彦へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-Expression III」の担当者をChang、Nall、Wilson、佐藤麗へ変更
- ・クラスサイズ適正化のため、「韓国語Ⅰ」の担当者に鄭熙轍を追加
- ・クラスサイズ適正化のため、「韓国語Ⅱ」の担当者に鄭熙轍を追加
- ・時間割編成に伴い、「環境科学入門」の担当者に北辻政文を追加
- ・実習地域変更のため、「コミュニティ・プランナー概論及び演習」の担当者を風見正三、郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、大熊恵子、佐々木秀之、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
- ・実習地域変更のため、「コミュニティ・プランナー実践論」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、大熊恵子、佐々木秀之、石田祐、安齋由貴子、中沢峻、小林仁へ変更
- ・実習地域変更のため、「コミュニティ・プランナーフィールドワーク演習」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、桂晶子、河西敏幸、大熊恵子、佐々木秀之、千葉克己、石田祐、安齋由貴子、中沢峻へ変更
- ・時間割編成に伴い、「学外研修」の担当者を山本まゆみへ変更
- ・時間割編成に伴い、「産学連携講座Ⅰ」の担当者を山本まゆみへ変更
- ・時間割編成に伴い、「産学連携講座Ⅱ」の担当者を山本まゆみへ変更
- ・少人数指導実施のため、「科学基礎実験」の担当者に赤澤隆志、鳥羽太陽を追加
- ・少人数指導実施のため、「食材生産・加工実習Ⅰ」の担当者に鳥羽太陽、赤澤隆志を追加
- ・専任教員の退職に伴い、「応用統計学」の担当者を木村和彦、川村保に変更
- ・クラス数見直しのため、「インターンシップⅠ」の担当者を須田義人、紺屋直樹、堀田宗徳、菅原香奈子に変更
- ・時間割編成に伴い、「環境科学」の担当者を笠原紳、原田茂樹に変更
- ・新規専任教員採用、少人数指導実施のため、「食材生産・加工実習Ⅱ」の担当者を毛利哲、井上達志、大竹秀男、斎藤幸幸、石田光晴、西川正純、赤澤隆志、島津朋之、中村聡、鳥羽太陽へ変更
- ・クラス数の見直しのため、「キャリア開発Ⅰ」の担当者に菅原香奈子を追加
- ・クラス数見直しのため、「インターンシップⅡ」の担当者を須田義人、紺屋直樹、堀田宗徳、菅原香奈子に変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「食材生産概論」の担当者を中村聡、井上達志、鳥羽太陽に変更
- ・クラス数見直しのため、「食と未来」の担当者を西川正純に変更
- ・専任教員の退職に伴い、「フードシステム調査演習」の担当者を森田明、三石誠司に変更
- ・専任教員の退職に伴い、「食品マーケティング演習」の担当者から谷口葉子を削除
- ・少人数指導実施のため、「フードシステム解析演習」の担当者に紺屋直樹を追加
- ・少人数指導実施のため、「食品化学実験」の担当者に元木康介を追加
- ・専任教員の退職に伴い、「食感性科学」の担当者を西川正純に変更
- ・少人数指導実施のため、「解剖・生理学」の担当者を武田和久、風間逸郎に変更
- ・少人数指導実施のため、「食品物理化学」の担当者に庄子真樹を追加
- ・少人数指導実施のため、「水産資源学」の担当者に西川正純を追加
- ・専任教員の退職に伴い、「卒業研究サーベイ」の担当者を川村保、西川正純、三石誠司、笠原紳、石川伸一、金内誠、菰田俊一、白川愛子、都世蘭、毛利哲、森田明に変更
- ・専任教員の退職に伴い、「卒業研究Ⅰ」の担当者を川村保、西川正純、三石誠司、笠原紳、石川伸一、金内誠、菰田俊一、白川愛子、都世蘭、毛利哲、森田明に変更

【令和３年度】

- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「スタートアップ・セミナー」の担当者を紺屋直樹、石川伸一、三上浩司、森本素子、金内誠へ変更
- ・全学群で共通科目として授業を実施するため、「アカデミック・セミナー」の担当者を川村保、中村聡、笠原紳、木村和彦、須田義人へ変更
- ・実習地域変更のため、「地域フィールドワーク」の担当者を郷古雅春、平岡善浩、佐々木秀之、舟引敏明、千葉克己、木村三香、大熊恵子、森本素子、石田祐、齊藤奈緒、川島滋和、中沢峻、西川正純、小林仁へ変更
- ・兼任教員の退職に伴い、「情報化社会と技術」の担当者に後藤勲を追加
- ・兼任教員の退職に伴い、「データサイエンス入門」の担当者に後藤勲を追加
- ・弓谷行宏の退職に伴い、「English Reading SkillsⅠ」「English Reading SkillsⅡ」「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」「日本語Ⅲ」「日本語Ⅳ」は非常勤教員（兼任）扱いで本人が継続実施
- ・時間割編成に伴い、「English Self-ExpressionⅠ」の担当者をWilson、Nall、Chang、Phelan、佐藤麗、EICHHORSTへ変更
- ・クラス数の見直しのため、「English Self-ExpressionⅡ」の担当者をWilson、Nall、Chang、曾根洋明、Phelan、EICHHORSTへ変更
- ・兼任教員の退職に伴い、「心理学」の担当者に平泉拓を追加
- ・時間割編成に伴い、「環境科学入門」の担当者に小沢晴司を追加
- ・時間割編成に伴い、「グローバルインターンシップ」の担当者を山本まゆみ、曾根洋明に変更
- ・時間割編成に伴い、「産学連携講座Ⅰ」の担当者を平岡善浩に変更
- ・時間割編成に伴い、「産学連携講座Ⅱ」の担当者を平岡善浩に変更
- ・時間割編成に伴い、「応用情報処理」の担当者に滝口沙也加を追加
- ・時間割編成に伴い、「応用統計学」の担当者に元木康介を追加
- ・時間割編成に伴い、「微生物学」の担当者に島津朋之を追加
- ・時間割編成に伴い、「環境科学」の担当者に柳澤満則を追加
- ・クラス数見直しのため、「キャリア開発Ⅰ」の担当者を須田義人、堀田宗徳、須藤祐子、菅原香奈子に変更
- ・時間割編成に伴い、「食品マーケティング論」の担当者に滝口沙也加、茨木拓也、舟久保竜を追加
- ・少人数指導実施のため、「食品化学」の担当者に島津朋之を追加
- ・少人数指導実施のため、「食と未来」の担当者を西川正純、川村保、三石誠司、石川伸一、金内誠、菰田俊一、白川愛子、都世蘭、堀田宗徳、毛利哲、森田明、笠原紳、石田光晴、作田竜一、島津朋之、元木康介、赤澤隆志、滝口沙也加に変更
- ・少人数指導実施のため、「畜産食品学」の担当者に島津朋之、赤澤隆志を追加
- ・新規専任教員採用及び、少人数指導実施のため、「フードシステム調査演習」の担当者に阿部希望、滝口沙也加を追加
- ・少人数指導実施のため、「食品マーケティング演習」の担当者に滝口沙也加、近添淳一を追加
- ・少人数指導実施のため、「食品化学実験」の担当者に赤澤隆志を追加
- ・新規専任教員採用及び、少人数指導実施のため、「ローカルフードシステム論」の担当者を紺屋直樹、森田明、諸星久美子、阿部希望へ変更
- ・時間割編成に伴い、「食感性科学」の担当者を元木康介に変更
- ・時間割編成に伴い、「ライフステージ栄養学」の担当者に畠山寿之を追加
- ・時間割編成に伴い、「解剖・生理学」の担当者を森本素子に変更
- ・新規専任教員採用に伴い、「食産業・政策史」の担当者に阿部希望を追加
- ・時間割編成に伴い、「水産資源学」の担当者を片山旺優、西川正純、南卓志に変更
- ・新規専任教員採用及び、少人数指導実施のため、「卒業研究サーベイ」の担当者に作田竜一、島津朋之、元木康介、赤澤隆志、滝口沙也加、阿部希望を追加

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成３０年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
4	8	0	1	13		11	3	0	0	14	0
(5)	(8)	(0)	(1)	(14)							
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
11	3	0	0	14	0	11	3	0	0	14	0
[7]	[Δ5]	[0]	[Δ1]	[1]	[-]	[7]	[Δ5]	[0]	[Δ1]	[1]	[-]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{13} = \boxed{107.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
該当なし										
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）
該当なし										

- （注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	准教授	君塚 道史	H30.3	必修	卒業研究サーベイ	①	H30.3.31付け一身上の理由のため辞任（30）						
				必修	卒業研究	①							
				選択	食品工学	①							
				選択	食品貯蔵・流通技術論	②							
				選択	食品化学実験	①							
				必修	科学基礎実験	①							
				必修	食材生産・加工実習Ⅰ	①							
				必修	食材生産・加工実習Ⅱ	①							
2	准教授	谷口 葉子	R2.3	必修	卒業研究サーベイ	①	R2.3.31付け一身上の理由のため辞任（2）						
				必修	卒業研究	①							
				選択	ローカルフードシステム論	①							
				選択	食感性科学	①							
				必修	応用統計学	①							
				選択	フードシステム調査演習	①							
				選択	食品マーケティング演習	①							
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
2	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	6	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	14	科目	計	1	科目	計	0	科目

- （注）・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担当教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記（3）-① ・ （3）-② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
2	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	7 科目	選択	6 科目	選択	1 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	15 科目	計	14 科目	計	1 科目	計	0 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{2}{13} = 15.38 \%$$

- （注）・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- （注）・ （3）-①、（3）-②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	石田 光晴	選択	畜産食品学	②	H31.3.31付け定年退職により退官。(元)				
			必修	食材生産・加工実習Ⅰ	②					
			必修	食材生産・加工実習Ⅱ	②					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人		必修	2 科目	必修	0 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
			選択	1 科目	選択	0 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	3 科目	計	0 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の番号1については、退職は一身上の都合によるものであり、真にやむを得ない事情によるものであると判断して退職を認めた。当該教員が担当予定であった科目のうち、平成31年度に開講される選択科目2科目(後任未定)を除き、専任教員への担当者変更を行ったため、教育上の支障は発生しない。また、学生に対しては、平成30年4月5日に実施したオリエンテーションで指導体制を発表し、周知を行った。(30)

就任辞退の番号1については、令和元年度に開講される選択科目2科目について、食品工学を学内の兼任教員(庄子真樹)が、食品貯蔵・流通技術論を辞任教員本人(君塚道史)が非常勤講師として担当者変更を行ったため、教育上の支障は発生しない。(元)

定年退官の番号1については設置時における計画で本人が非常勤教員として担当することを予定しており、当初計画のとおり後任補充を行った。(元)

専任教員辞任の番号2については、退職は一身上の都合によるものであり、真にやむを得ない事情によるものであると判断して退職を認めた。当該教員が担当予定であった科目は専任教員、兼任教員への担当者変更を行ったため、教育上の支障は発生しない。また、学生に対しては、昨年度の令和元年10月に実施したオリエンテーションで指導体制を発表し、周知を行った。(2)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
認 可 時 (平成28年)	該当なし			履行中	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	該当なし			履行中	
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	該当なし			履行中	
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし			履行中	
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	専任教員数が設置計画から減少しているため、提示された教員の採用計画を確実に履行するよう努めること。	指摘事項 (改善)	学内審査により教授1名、准教授2名の専任教員を新たに確保し設置計画の専任教員数の充足を図った。また、昨年度に引き続き教員採用活動を継続し、教育体制の充実に努めている。	履行中	教員の退任等により一時的に兼任・兼担としている科目についても専任教員を充てられるように教員の採用活動を継続し、より教育体制を充実させる。

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<食産業学群 フードマネジメント学類>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特になし	特になし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学のカリキュラムマネジメントは、平成29年度以降カリキュラムセンターがその中心を担っている。カリキュラムセンターは教員の資質の維持向上の方策について所掌しており、成績評価に関するガイドラインの策定、授業評価アンケート、シラバスの改善、FD・SDの企画・運営等を行っている。

○関係規程「公立大学法人宮城大学基本規則」

第38条 本学の教育目標の実現のため、教育機能の向上及び教育内容の充実を図るとともに、教育研究組織間の連携を推進するため、教育推進センター等として、次の表の左欄に掲げる組織を置き、その所掌事務は同表の右欄に定めるところによる。

組 織	所 掌 事 務
アドミッションセンター	入学受入れ方針及び入学選抜等に関すること。
カリキュラムセンター	教育課程編成・実施方針、卒業認定・学位授与方針及び教育内容の研究、開発等並びにラーニングコモンズの運営及び地域連携実践教育プログラムの推進に関する学内等の連絡調整及び情報共有等に関すること。
スチューデントサービスセンター	学生の指導及び修学支援、生活支援、健康支援等に関すること。
キャリア・インターンシップセンター	キャリア教育並びにインターンシップの企画・調整及び進路支援等に関すること。
キャンパス整備委員会	ラーニングコモンズ等、キャンパス全体の環境整備、運営に関する学内等の連絡調整及び情報共有等のため、当分の間設置する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<カリキュラムセンター運営委員会>

令和2年度は11回開催、カッコ内はセンター教員15名の参加状況

- 第1回 令和2年4月29日 (15/15)
- 第2回 令和2年5月27日 (14/15)
- 第3回 令和2年6月24日 (14/15)
- 第4回 令和2年7月29日 (13/15)
- 第5回 令和2年8月26日 (15/15)
- 第6回 令和2年9月30日 (15/15)
- 第7回 令和2年10月28日 (15/15)
- 第8回 令和2年11月25日 (15/15)
- 第9回 令和2年12月23日 (12/15)
- 第10回 令和3年1月27日 (14/15)
- 第11回 令和3年2月24日 (15/15)

c 委員会の審議事項等

<カリキュラムセンター運営委員会>

令和2年度

第1回

- 1 履修規程改正および遠隔授業実施要綱の制定について
- 2 次期カリキュラム改編に向けて

第2回

- 1 カリキュラムセンター令和2年度業務工程について
- 2 内部質保証システムについて

第3回

- 1 令和2年度前期授業評価アンケートの実施について
- 2 令和2年度学修行動調査の実施について
- 3 ミドル・マイクロFD企画書について

第4回

- 1 後期授業実施方針について
- 2 カリキュラム改編に伴う全学3ポリシーの改正について
- 3 令和3年度科目責任教員について
- 4 大学院設置基準の一部を改正する省令の施行による大学院学則の一部改正について
- 5 環境システム学科の廃止に伴う学則改正について
- 6 全学SD・FDについて
- 7 ミドル・マイクロFD企画書について
- 8 科目責任教員・非常勤任用計画について（看護・食産）
- 9 令和2年度9月補正予算要求について
- 10 遠隔講義に関するアンケートについて

第5回

- 1 カリキュラム改編に伴う全学3ポリシーおよび学群3ポリシーの改正について
- 2 非常勤任用計画について（基盤）

第6回

- 1 大学院学則の一部改正について
- 2 科目担当教員一覧について（食産）
- 3 ミクロFD企画書について
- 4 第三期中期計画原案・具体的取組について

第7回

- 1 大学院学則および各研究科履修規程の一部改正について
- 2 令和2年度前期教育改善計画について
- 3 非常勤任用計画について（食産・実学教育プログラム）
- 4 ミクロFD企画書について（高大連携）
- 5 卒業・修了時の学修成果測定の実施について

第8回

- 1 令和2年度後期授業評価アンケートの実施について
- 2 令和3年度シラバス作成について
- 3 ミドル・マイクロFD企画書について
- 4 令和2年度非常勤任用計画について（食産・実学教育プログラム）

第9回

- 1 令和2年度計画実績について
- 2 令和2年度最終補正予算について
- 3 令和3年度計画策定について
- 4 令和3年度予算要求について
- 5 大学院学則・履修規程の改正について
- 6 令和3年度科目担当教員一覧・非常勤任用計画について
- 7 令和2年度研究科学生による教育内容等の評価について

第10回

- 1 学群3ポリシーについて
- 2 学群・大学院学則・履修規程の改正について
- 3 科目担当教員一覧について（看護学群・研究科）

第11回

- 1 科目名の英語表記について（各研究科科目）
- 2 令和3年度科目担当教員について

② 実施状況

- a 実施内容
- b 実施方法
- c 開催状況（教員の参加状況含む）

○全学SD・FD

「これからの大学を考える

国連 持続可能な開発目標（SDGs）と2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」

・令和3年2月22日（月）開催

・学外講師による講演

・役員3/4名，教員124/139名，事務職員44/61名，合計171/204名参加（学外者4名）

○看護学群FD「看護基礎教育カリキュラムの改正に関する理解と今後の活用」

・令和3年3月11日（木）開催

・遠隔会議によるグループワーク形式で実施

・看護学群教員49名出席

○事業構想学群FD「カリキュラム改定 学群共通科目の考え方」

・令和2年9月9日（水）開催

- ・遠隔会議方式で実施
- ・事業構想学群教員出席
- 食産業学群 F D 「新型コロナウイルス感染症防止対策と対面授業（実験実習・演習等）の実施について」
 - ・令和2年8月26日（水）開催
 - ・遠隔会議方式で実施
 - ・食産業学群教員25名出席
- 基盤教育群 F D 「新入生アセスメント報告会」
 - ・令和3年2月22日（月）開催
 - ・遠隔会議方式，学外講師による講演
 - ・基盤教育群教員等26名出席
- 看護学研究科 F D 「看護研究におけるWeb調査の可能性」
 - ・令和3年3月18日（木）開催
 - ・遠隔会議方式にて，学外講師による講演を実施
 - ・看護学研究科教員及び研究科学生45名出席
- 事業構想学研究科 F D 「遠隔授業の現状と課題，およびwithコロナの大学院における教育研究」
 - ・令和2年8月5日（水）開催
 - ・遠隔会議方式で実施
 - ・事業構想学研究科教員28名出席
- 食産業学研究科 F D
 - 「研究科カリキュラムへの遠隔講義の活用とR3年度からの研究科新カリキュラムのシラバス作成について」
 - ・令和2年12月9日（水）開催
 - ・遠隔会議，対面にて実施
 - ・食産業学研究科教員29名出席
- スチューデントサービスセンター F D 「民法改正に伴う成年年齢の引き下げと消費者教育について」
 - ・令和3年2月24日（水）開催
 - ・対面および遠隔会議方式にて，外部講師による講演を実施
 - ・教職員45名出席
- カリキュラムセンター F D 「学修者本位の学びの実現：内部質保証基盤としての教学マネジメントシステム」
 - ・令和2年9月7日（月）開催
 - ・対面および遠隔会議方式にて，外部講師による講演を実施
 - ・教職員77名出席
- キャリア・インターンシップセンター F D 「2021年の就活動向と2022年の就活予測」
 - ・令和3年1月5日（火）開催
 - ・遠隔会議方式にて，外部講師による講演を実施
 - ・教職員22名出席
- 事業プランニング学類 F D 「現行カリキュラムの課題確認と改訂での検討事項」
 - ・令和2年9月2日（水）開催
 - ・対面方式でディスカッションを実施
 - ・事業プランニング学類教員9名出席
- 地域創生学類 F D 「ジェネリックスキルの測定とディプロマポリシー到達度の評価」
 - ・令和3年3月3日（水）開催
 - ・対面および遠隔会議方式にて，外部講師による講演を実施
 - ・地域創生学類教員出席
- 食資源開発学類 F D 「食資源開発学類の広報について」
 - ・令和2年8月6日（木）開催
 - ・対面および遠隔会議方式にて，外部講師による講演を実施
 - ・食資源開発学類教員等18名出席
- 食資源開発学類 F D 「“折れない心”の育て方 レジリエンス・トレーニングセミナー」
 - ・令和2年9月8日（火）開催
 - ・遠隔会議方式にて，外部講師による講演を実施
 - ・食産業学群教職員13名出席
- 高大連携推進室 F D 「高大接続改革2.0に向けて-高等学校と大学の相互理解で教育のアップデートを」
 - ・令和2年8月18日（火）実施

- ・外部FDに遠隔方式で参加
 - ・教職員6名参加
 - 学生サービスセンター・健康支援室FD「コロナ禍における対面授業Q & A」
 - ・令和2年12月7日（木）より講師による講演をオンデマンド配信
 - ・教職員38名出席
 - グローバルコミュニケーション部会FD「他大学におけるカリキュラムマネジメント」
 - ・令和2年8月27日（木）開催
 - ・遠隔会議方式にて、外部講師による講演を実施
 - ・英語教員10名参加（学外者2名）
 - 事務局FD「令和2年度新規採用職員合同研修」
 - ・令和2年6月24日（水）、7月29日（水）、9月11日（金）、12月25日（金）、令和3年3月4日（金）実施
 - ・対面および遠隔会議方式にて、講師による講演を実施
 - ・事務局職員4名出席
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

カリキュラムセンターが、FD・SDの実施規模を階層化したレベルに分け、計画立案・実施・まとめのプロセスを支援。各レベルで実施後に提出された報告書を、カリキュラムセンターがまとめて、全学の教職員に情報共有することで、FD・SDの評価検証、次年度の授業改善等に向けた検討を行っている。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期

前期（令和2年7月30日（木）～10月2日（金））、後期（令和2年1月13日（水）～令和3年3月31日（水））にウェブ上でアンケートを実施。
 - b 教員や学生への公開状況、方法等
 - ・令和元年度より学修状況の可視化と連動した新しい授業評価アンケートシステムを導入し、令和元年度前期の授業評価アンケートの回答率が95.4%と向上した。それ以降も概ね95%以上の回答率となっている。また、同システムにより学修状況が可視化されたことによって、学修状況に対する学生の意識・関心が向上した。
 - ・上記によって得られた授業評価結果に基づき、各科目担当教員が授業改善計画を作成するとともに、各学群の教育課程における授業改善に向けた実施計画を学群長が作成。
 - ・各科目担当教員による授業改善計画については学内ポータルサイト、学群長による教育改善計画書については学外ホームページにて公開。
 - ・これらの改善計画に基づき、令和3年度の授業が実施されているかカリキュラムセンターによる確認を実施予定。
 - ・授業評価アンケートのほか、学修行動調査の実施により学生の学修特性を把握するとともに、平成30年度から試行した卒業時学修成果測定により到達度を確認し、それらの結果もふまえながら授業改善につなげている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学，専門職短期大学，専門職学科，専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

フードマネジメント学類は、農畜水産業により供給される食材を加工し、付加価値のついた加工食品として供給する食品工業、消費者や実需者のニーズを的確にとらえ、安全かつ安心な生鮮食料品及び加工食品を供給する食品流通業、また食品そのもののみならずサービスも付加して食事を提供する外食・中食産業などを対象に、高品質・高機能な食品を、適切な価格で、安定的かつ安全に供給する仕組みについて、サイエンスとビジネスの両面から知識を身につけ、複眼的思考により問題解決に当たる能力を備えた人材を育成することを目的としている。

初年度は、新たに導入したフレッシュマンコアを中心とした基盤教育科目を展開し、偏りなく幅広い教養を身につけるとともに、1年後期には「学類配属」の指針となる学群共通の専門基礎科目として「食産業学総論」を開講するとともに、2年次進級時の「学類配属」を決定した。

2年目となる平成30年度は、学類での専門的な学びを学生自らが掘り下げ、3年前期に予定している自らの専門性を踏まえたコース選択に向けて、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力を着実に身につけているところである。

3年目となる令和元年度は、後期から学生は研究室（ゼミ）に配属され、「卒業研究サーベイ」に取り組む。研究室（ゼミ）の配属は、学生自身の志望に加えて、基盤教育・専門教育での学びの成果を参考に、専門に向けた適性を考慮して配属を行った。また、ここでの学びをより充実させられるよう、令和元年度に新設したラーニングcommons等を積極的に活用するなど、引続き学習環境の整備を行った。

4年目となる令和2年度は、3年生後期の「卒業研究サーベイ」を踏まえてテーマを決め、4年間の学びの集大成として「卒業研究」に取り組み、学修成果測定結果によりディプロマポリシーを満たした学生に学士を授与した。

全学のカリキュラムマネジメントは、引き続きカリキュラムセンターが学群・学類と連携しながらその中心を担い、科目担当教員には「成績評価に関するガイドライン」を示すなど、成績評価の厳格化に向けた取組としている。また、3つのポリシーに基づいた「カリキュラムマップ」を学生向けに提示するとともに、学生の授業評価に基づく授業改善計画書の提出・改善を継続して実施している。加えて、学生の学修成果を可視化するためのツールを令和元年度より導入し、Web上の授業評価の回答率向上とも連動させている。

以上のように、設置計画に基づき、設置の趣旨・目的が実現できるよう、全学を挙げて不断の見直しを行い、着実に取組を進めてきた。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・本学では、中期目標期間の第5年度に合わせて6年周期として認証評価を受けることとしており、その前年度に、それまでの自己点検・評価をまとめ報告書として作成している。
- ・独立行政法人化後の最初の認証評価は平成25年度であったため、上記のタームに基づき平成24年度末（25年3月）に自己点検・評価報告書を作成し、ホームページにおいて公表した。
- ・令和元年度に第3期認証評価を受審し、関係資料をホームページに更新した。

b 公表方法

- ・本学ウェブサイトにて公開している（<https://www.myu.ac.jp/about/outline/management/inspection/>）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和元年度に、公益財団法人大学基準協会による大学評価を受け、その結果、本学は大学基準に適合していることが認定された。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c. 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。